

326

234



始



露國黑龍江州及黑龍江沿岸  
地方ニ於ケル鑛山業

臨時産業調査局第二部

326-234



露國黑龍江洲管區ニ於ケル鑛山業

一九一三年及一九一四年鑛山管區技師ノ報告ニ據ル



注 意

- 一、本篇中ニ使用シタル貨幣度量衡ヲ我邦ノ制度ニ換算スレハ別紙ノ如シ。但シ貨幣ハ戰亂前ノ換算率トス
- 二、「ブタール」(БУТАРЬ) 原文ハ「ブタール」ナルモ西伯利亞ノ土人語ニシテ (БУТАРА) 「ブタール」正當ナルカ如シ、譯語ニハ「手押車」トセルモ「鐵篩」ニテ手ニテ押シ動カシ小車輪ヲ有スルモノモアリトノ事ナリ
- 三、「ゾトトニツチナヤラポータ」(ЗООТОНУНАН ПАЮТА) 譯文ニハ「滑舟作業」トナセルモ右ハ直譯ニテ、同語ハ同シク土俗語ニシテ、西伯利亞在住ノ支那人、朝鮮人労働者數人カ一組ヲナシ採金ニ際シ共同作業ヲ行フモノニシテ、機械作業ニ於テ採掘セル廢鐵ノ採金等ニ最モ有効ナルモノトシテ現在西伯利亞ニ於テ廣ク行ハレツ、アリ。而シテ右作業労働者個々ヲ「ゾロトニツチニツク」ト稱ス

露國度量衡表

尺度ノ部	
フ	尺 一 尺五厘八毛
アルシ	二尺三寸四分六厘四毛
ウエルシヨツク	一寸四分七厘
露 <small>ウエル</small> 里	九町四十五間
平方及立方尺ノ部	
デシヤチン	一町 段四畝八步
平方サーシエン	一步ト萬分ノ三千七百七十
平方アルシ	〇步ト萬分ノ千五百二十九
立方アルシ	二尺三寸四分七厘立方
立方サーシエン	七尺五分立方
度量ノ部	
布	四貫三百六十匁五分
度	一



探金作業術……………三五

衛生……………四一

雜……………四二

以上

### 黑龍江洲管區ニ於ケル鑛山業

(一九一三年同區技師ノ報告ニ據ル)

一九一三年ニ於ケル黑龍江洲ノ鑛山業ハ從來ト殆ト大差ナク、石灰石ヨリスル生石灰製造ヲ除キテハ探金業主トシテ行ハレ又狹範圍ノ探炭行ハレタリ

#### 石炭探掘業



本年中黑龍江洲國有財産管理局ニ於テ新ニ石炭探掘ノ許可ヲ與ヘタルモノハ只一個ニシテ又先年既ニ其許可ヲ得タル鑛山業會社ハ本年ニ於テ始メテ其耐火粘土鑛(面積八十六)「テシヤチーン」ノ探掘ヲ着手シタリ。是等個人經營以外ニ交通省ハ黑龍江鐵道開發ノ目的ヲ以テ同鐵道ノ東部「ブレイア」驛附近ニ位ナル有力ナル「ブレイヤ」褐炭鑛ノ探掘ニ着手シタルカ、同鑛探掘ハ一九一三年八月中旬ヨリ翌一九一四年一月中旬迄約五ヶ月ニ亘リ交通省ヨリ任命セラレタル黑龍江洲管區鑛山副技師「シチウキン」氏監督ノ下ニ續行セラレタリ。而シテ同鑛ニテ使用セル露天勞働者ハ一日平均百名ニシテ之ニ要シタル總經費約五萬三千留ナルカ、此結果同鑛ヨリ優ニ六十億布度ノ探炭ヲ爲シ得ヘキヲ認メタリ

本年中當管區ニ於ケル生石灰ノ採取ハ「ブラゴベシチエンスク」市ヨリ三百五十露里乃至三百五十五

露里ヲ距ツル「ゼヤ」河右岸「大理」<sup>ムラモル</sup>「石炭」<sup>イロクワス</sup>「界標」ニ散在スル三個ノ礦坑ニ於テ行ハレタルカ、右礦坑ハ何レモ國有財産管理局ノ貸地ニ屬ス。是等ノ三坑ニテ本年中ニ使用セル男子成年労働者ハ四千四百三十二名ニシテ、即チ一日平均四十二名其工程百二十六立方「サージエン」其採石灰量六萬九千布度ニ達セリ。而シテ是等生石灰ノ價格ハ原產地ニ於テハ一布度二十三哥内外ナルモ「ブラゴベシチエンスク」並黒龍江鐵道建設地ニアリテハ三十五哥乃至四十五哥ノ相場ヲ維持セリ

本年中當管區ニ於テ二個ノ石炭企業ノ創立アリタリ。即チ一ハ「黒龍江石炭會社」ニシテ「バクロフ」石炭會社廢業ノ後ヲ相續シ、四十二「デシヤチーン」ノ面積ヲ有スル炭礦ヲ經營シ、他ハ「ビル」<sup>ビル</sup>石炭商會」ト稱シ總面積二百四十二「デシヤチーン」ヲ有スル四個ノ炭礦ヲ經營セリ。尤モ右ノ中、本年中實際採炭ヲ行ヒタルハ只一個ニシテ、即チ「デブ」河口ヨリ約七十五露里、「ゼヤ」河左岸「ノウイヤムボリ」村ヨリ二十五露里ノ地ニ位スル「バクロフ」炭礦カ上記「黒龍江石炭會社」ニテ行ハレタルモノ之ナリ

「ビル」商會經營ノ炭礦ハ「ワンコフ、マルコフ、プリユスニン、リユツペン」ノ四坑ニシテ何レモ黒龍江ノ左支流「大ビラ」河ノ左岸、黒龍江鐵道「ビラ」驛ヨリ約一露里半、俗ニ「石炭山」<sup>イロクワス</sup>ノ稱アル地ニ散在セリ。而シテ本年ニ於テハ何レモ採炭ノ運ビニ至ラズ、單ニ試掘並其準備工事ヲ施行セルニ過キサリキ

「黒龍江石炭會社」經營「バクロフ」炭礦ニ於テ本年中ニ使用セル男子成年労働者ハ六百四十七名即チ一日平均三十八名ニシテ其採炭量九萬九千六百八十布度ニ達セリ。原產地ニ於ケル價格ハ一布度十哥ナリシモ秋期「ブラゴベシチエンスク」ヨリ特派セル汽船遲着ノ結果、本年中輸出販賣ヲ見ルニ至ラス其採炭ハ全部取殘サレタリ

「バクロフ」炭礦ニテハ五個ノ炭層ヲ含ム傾斜層ニ二十「サージエン」ノ距離ヲ有スル二個ノ堅坑ヲ開掘セリ。就中、主ナルモノハ第二號堅坑ニシテ「C X T」<sup>サージエン</sup>ノ横徑ト第四下層（底部迄十六「サージエン」アリ）ノ横部ニ至ル二十「サージエン」ノ深サヲ有シ、灌水、昇降、交通（梯子）ノ三部ニ分タル。第一號堅坑ハ横徑「C X T」<sup>サージエン</sup>、深サ十「サージエン」ヲ有スル補助坑ニシテ換氣通風用ヲ爲スノ外豫備交通（梯子）ノ設備ヲ有セリ。採炭ノ試掘ハ十「サージエン」ノ底部ニ於テ第二號堅坑ヲ横斷スル第三下層ニ於ケル豫備坑道ノ入口ニ於テ行ハレタルカ、本年ニ於テハ單ニ採炭ニ止マリ其輸出販賣ヲ見ルニ至ラザリキ

左記「バクロフ」炭礦開掘以來ノ採炭量表並ニ當管區鑛山技師ノ發表セル昨一九一二年ニ於ケル當管區一般鑛山業ニ關スル報告書ニ據リ、吾人ハ容易ニ黒龍江洲管區ニ於ケル私營石炭業ノ將來カ依然トシテ困難ナル事情ニアル可キヲトスルヲ得ベシ。即チ直言スレバ農商務省ノ特別指令ニ由リ其開掘ヲ禁止セラレツ、アル區域ノ鑛山業カ其解禁ヲ見サル限リ果シテ個人企業家ノ助力ヲ有スル此種事業ノ



將來ニ多少ノ發達ヲ望ミ得ベキヤ否ヤ。如何トナレバ此地方ニ存在スル最モ有望ナル炭礦ノ殆ト全部カ最近私營企業禁止區域ニ編入セラレタルヲ以テナリ

官營石炭業ノ發達ニ就テハ確實ニ之ヲ認ムルヲ得ベク彼ノ國庫カ交通省ノ「ブレイヤ」炭礦試掘ノ結果ヨリシテ、躊躇スル所ナク黑龍江鐵道ノ爲メ同礦ノ開掘ニ着手シタルニ由リテモ之ヲ確認スルヲ得ヘシ

採炭量表 (單位ハ布度ヲ以テ示ス)

採掘年次	數量
一九〇六年—一九〇七年	試掘
一九〇八年	無シ
一九〇九年	無シ
一九一〇年	無シ
一九一一年	一一、三〇〇 <small>布度</small>
一九一二年	五四六、九〇〇
一九一三年	九九、六八〇
總計	六八二、五六五

### 採金業

一九一三年ニ於ケル本管區ノ採金業ハ浣淨法ニ由リ合金鑛ヨリ砂金ヲ採取セルニ止マレリ  
金鑛開掘ニ關シテハ本年ニ於テハ、其合金量ノ豊富ヲ以テ有名ナル「ウエルフネアムール」採金業會社所有「ウエルフネドミトリエフ」金鑛ニ隣接セル「アー、エム、リフマン」所有「ネチャイヤン」金鑛(「ジヤリンダ」河々源ニアリ)ノ開掘ヲ見タルノミナリキ

尤モ該「ネチャイヤン」鑛ハ昨年獨逸資本家ヨリ特派セラレタル外人技師ノ視察調査セルモノニシテ其結果獨逸資本家ハ同鑛ノ好望ナルヲ認メ昨年末同鑛所有主「リフマン」(同人ハ「ネチャイヤン」金鑛以外之ニ隣接セル猶七個ノ金鑛ヲ所有ス)ヲ伯林ニ招待セリ。「リフマン」ハ歸國後直チニ「ジヤリンダ」河々源ニ於テ其所有スル全金鑛ヲ新ニ組織セラレタル株式會社ニ讓渡セル旨ノ聲言ヲ爲シ、而シテ其代價ヲ正貨並株券ニテ受領セリ

該金鑛ノ價值ニ就キ、同鑛ヲ視察セル管區技師ハ「假令試掘ニ由リ露出セラレタル部分ハ未タ小範圍ナリト雖、該金鑛ノ價值タル絶大ニシテ其開掘ノ有望ナル可キハ斷言シテ憚ラサル所ナリ」トノ言明ヲ爲シタリ

一般ニ、「ネチャイヤン」金鑛ノ出現ハ實ニ本管區金鑛開掘ノ將來アルヲ示スモノニシテ、最近同鑛

ヨリ發見セラレタル各種ノ證左ハ確實ニ之ヲ立證スルヲ得ヘク、尙同時ニ吾人ハ同管區ノ採金業カ近キ將來ニ於テ益々有望ナル可キヲ附言シ得ルモノナリ

只該金鑛カ久シク其同一坑ノ採掘ヲ繼續シ新坑ノ開掘ヲ見サルト、其採掘法カ筋力作業ニ由ルノ結果、近時其採金量ノ減少シツ、アルハ止ムキ事ナリ

其他ノ各金鑛ハ含金量前者ノ如ク豐富ナラス、其採掘モ亦筋力作業ニ由ラス器械及水壓作業ヲ以テ行ハレタリ。然レトモ是等金産地ハ一般ニ經濟中心地トノ交通便ナラス又結水久シキ爲メ水壓作業ニ必要ナル流水ヲ缺ク結果、果シテ近ク成功ヲ見ル可キヤ否ヤ未タ不明ナリ

更ニ特記ス可キハ本年中「セヤ」及「セムムシヤ」河航路ノ砂洲ニ於テ著シク砂金ノ盜採行ハレタル事ナリ。是等盜採ハ主トシテ最近上記ノ河岸ニ移往シ來レル移住民ニ由ツテ行ハル、モノニシテ、數組ノ露人勞働者カ相當ノ分配額ヲ定メテ之ヲ行フモノ、如シ。面シテ該砂洲ニ於テ廣範圍ニ亘リ殘留セラレタル多數金屑ノ採取ハ頗ル有益ナルモノト認メラル

上記河川航路ノ河床河洲ニ於ケル含金量ニ就テハ未タ其調査材料ヲ有セサルヲ以テ明言シ難キモ多少信憑スルニ足ル盜採者ノ陳述ニ由レハ、「ブラゴベシチエンスク」ヨリ約五百二十五露里ヲ距ツル「セヤ」河左岸「ルブレフカ」村附近ニ存スル「セヤ」河砂洲約二百「サージエン」ノ區域ヲ約三百人ニテ採掘シ、一ヶ月半乃至二ヶ月間ニ七布度ノ金ノ盜採ヲ得タリトノ事ナリ。尤モ此場合ノ採金量ハ例外ト

シテ認ム可キモノナルヘシ。

本年六月、郵便船ニテ「ブラゴベシチエンスク」セヤ「河間ヲ往復セル一管區技師ノ目撃セル所ニ由レハ、當時「セヤ」河砂洲ニ於ケル金盜採ハ「ゼルトヤロフ」村（「ブラゴベシチエンスク」ヨリ二百十八露里）ヨリ三百五十露里ノ地點ニ於テ約二十箇所ニ分レ行ハレ、其盜採者數千五百人以上ニモ達セリトノ事ナリ。盜採者ハ「セヤ」河々岸ニ居住スル移住民ノ成年勞働者婦人少年勞働者及地方住民ニシテ其指導者即チ告達者ハ盜採常業者タル外來露人勞働者ナリ、而シテ黃色人勞働者タル支那人朝鮮人移民ハ如何ナル場合ニモ之ニ加ハルヲ得サルカ如シ

含金量ノ洗淨ハ「セヤ」河々床ノ傍ニ設ケラレタル自家製ノ小手押車ニ於テ行ハル。木杓ニテ河水ヲ注キ、砂ハ木板ニ推積セラレ或ハ時ニ自家製ノ一輪車ニ運搬セラレ

地方行政廳及鑛山警察カ是等盜採禁止ノ爲メ講セル取締法ハ鑛山看守人員數ノ少ナキト旅費ノ乏シキ結果絶エス巡視ヲ行フヲ得サリシトニ由リ殆ト其効果ヲ舉クルヲ得サリキ

盜採者ハ又是等看守ノ近ツクヲ知ルヤ忽チ其作業ヲ中止シ、近村ノ民家ニ遁竄スルヲ以テ、假令看守等ハ盜採者ノ群集セル場所ニ近ツキ得ルモ彼等ヲ捕縛スル能ハス、從ツテ單ニ盜採者ノ組成セル洗淨装置ヲ破壊スルニ過キササルナリ。而シテ看守ノ去ルヲ見ルヤ彼等ハ再ヒ集合シ巧妙ナル方法ヲ以テ機敏ニ其装置ヲ復舊シ、沈着ニ其作業ニ着手スルヲ常トス

一九一三年一月一日ノ調査ニ由レハ當管區内現在採金業者數四十五、其所有金鑛數ハ金鑛百二十五及哥薩克人所有地ニ存スル敷地二個ナリ。該敷地ハ總面積一萬一千四百三十一「デシヤチーン」ニシテ、内三十一「デシヤチーン」ノ金鑛一個ヲ含ム

一九一三年中金鑛ノ異動ニ關シテハ、入札賣渡セラレタルモノ私有二十八個官有一個、「イルクツク」鑛山局ノ拂下ケヲナシタルモノ二十個、地租未納、滯納並廢業ノ爲メ官有ニ編入セラレタルモノ十五個、「イルクツク」鑛山局ノ拂戻シヲナセルモノ一個、拂下告示ヲナシ居ルモノ十五個アリタリ  
一九一四年一月一日ニ於テハ採金業五十一、其所有鑛數金鑛百五十九個、敷地二個及地租未納並滯納金鑛十一個ナリキ、而シテ該敷地ハ總面積一萬三千九百九十三「デシヤチーン」ニシテ内三十八「デシヤチーン」ノ金鑛一個ヲ含メリ

其金鑛ノ前年ニ比シ三十四個増加セルハ入札購買者ノ増加ニ由ルモノニシテ、黑龍江鐵道主要部開通ノ其主要原因タル可キハ疑フ可カラサル所ナルヘシ

探 金

一九一三年ニ於テ實際採金ヲ爲シタル金鑛ハ六十四個(總面積七千八百八十七「デシヤチーン」)ニシテ從ツテ其他ノ金鑛百二個(總面積七千二百十六「デシヤチーン」)ハ採金ヲ見ス、尤モ登記セラレタル採

金企業五十二個中二十一ハ未タ其作業ヲ見ルニ至ラサルモノナリキ

上記六十四金鑛ニ於テ本年中採掘ヲナシタル含金鑛ハ六千三百四十七萬五千三百八十布度ニシテ其含金量百布度ニ付三十四「ドリー」ノ割合ナリ、更ニ之ヲ平均スレハ勞働者五千四百三十一名ニテ一日五十七布度二十四「フント」<sup>六</sup>「ゾロトニツク」二十九「ドリー」ノ採金ヲ爲シ得ル事トナルナリ

含金量ノ最モ多キハ「アー、アー、コロレフ」ノ所有スル「ナゴールヌイフタロイ」及「ウーゴリス」金鑛ニシテ百布度中二「ゾロトニツク」十三「ドリー」及三「ゾロトニツク」四十八「ドリー」ヲ含有セリ。兩鑛ハ「ゼヤ」河合流地ヨリ約百露里ヲ距ツル「セレムジャ」河左岸ニ位シ、約五「サージエン」ノ深サヲ有スル堅坑ニ由リ採掘ニ從事シ居レリ

之ニ反シ含金量ノ最モ少キハ「エー、エー、タイトワヤ」所有「ニュージネウルカン」及「エフフイミエフ」鑛ニシテ其含金量十九「ドリー」ニ過キス。同所ハ黑龍江鐵道「ネウエル」待避驛ヨリ約五十五露里「マールイウルカン」河ノ右方「スルチャイ」ノ泉畔ニアリ。該金鑛ノ作業ハ器械作業即チ其露出セル断面ニ其兩側ニ匙<sup>チエルバコウヤツ</sup>土<sup>エフスカイトル</sup>掘ヲ有スル土掘器ヲ自動的ニ推進セシムルノ裝置ニ由テ之ヲ行ヒ居レリ

更ニ當管區ニ於ケル一般金鑛ノ含金量ニ付説述スレハ上記ノ「ニージネウルカン」「エフフイミエフ」兩金鑛及「ウエルフネアムール」會社所有金鑛(含金量十六「ドリー」)、「トーバズ」所有「インノケンチエ

フ「金鑛(含金量十九「ドール」)ヲ除キ、本年中ニ浣淨セル合金鑛三千四萬七千八十布度ニシテ其採金量四十一布度二十五「フント」四十九「ゴロトニツク」ナリ

### 金鑛採掘方法

一九一三年ニ於ケル金鑛採掘方法ハ從來ニ比シ更ニ進歩ヲ見ス、同時ニ其技術ニ於テハ其發達ヲ見ル能ハサリキ。即チ上記ノ「ニージネウルカン」及「エフアイミエフ」兩鑛以外ノ金鑛ハ悉ク筋力作業即チ人力ト家畜ヲ使用スル作業ニ由レリ。而シテ夏期(自四月一日)ハ露天ニテ作業シ、冬期ハ該地方ニテ「掘鑿」ト稱スル堅坑ニ由リ作業ニ従事ス

夏期ニ於ケル地下作業ハ「ブリゾメートル」(水押ヲ有セス、單ニ氣壓ノミナ)ヲ以テ排水セル四「サージエン」乃至五「サージエン」ノ深サヲ有スル堅固ナル堅坑ニ由リ行ハル、モノニシテ「アー、アー、コロレフ」氏所有「ウーゴリスイ」及「ナゴールヌイフタロイ」金鑛ニ於テノミ之ヲ實施シ居レリ。同鑛ハ其底部ニ四分ノ一乃至四分ノ三「アルシン」ノ長サヲ有スル四十乃至七十「チエツトウエルチ」ノ合金層ヲ有シ、其含金量モ比較的豊富ニシテ百布度ニ付「ゴロトニツク」半乃至四「ゴロトニツク」ノ割合ナリ

斯クノ如クシテ當管區ニ於ケル本年ノ採金法ハ其兩側ニ匙土鑛ヲ具備スル土掘器ヲ軌道ニ自動

的ニ推進セシムル機械的作業ト人力並家畜ヲ使用スル筋力作用トノ二種ニ分ツヲ得ヘシ

更ニ合金鑛採掘及其浣淨ニ従事スル勞働者ヲ先年當管區ニ一定セル方則ニ由リ分類スレハ次ノ三團ニ分ツヲ得ヘシ

- (一) 機械的作業ニ従事スルモノ
- (二) 筋力作業ニ従事スルモノ

(三) 筋力作業及滑弁作業(英Slide Valve)ノ混合作業ニ従事スルモノ

第一團ニ屬スルモノハ「テイトワヤ」所有「ニージネウルカン」及「エフアイミエフ」鑛、「ニージネセルムジン」採金會社所有「トロイツキー」鑛ニ作業スルモノニシテ、前者ニ於テハ採掘ニ土掘器ヲ使用シ、其浣淨ニ二個ノ桶ヲ具備スル浣淨器ヲ使用セリ。而シテ本年ニ於ケル其採金量八布度二十六「フント」三十九「ゴロトニツク」六十六「ドール」ニ達セリ。後者ハ「ウエシヨールイ」金鑛ト隣接シ、「ウエシヨールイ」金鑛ノ設ケタル一個ノ桶ヲ具備スル浣淨器ヲ共同使用セリ。而シテ後者「トロイツキー」金鑛ノ採金量ハ二布度三十六「フント」八十六「ゴロトニツク」ニシテ又混合作用ニ由レル「ウエシヨールイ」金鑛ノ採金量ハ三布度二十二「フント」十六「ゴロトニツク」ナリ、(内、滑弁作業ニ由レルモノ二十七「フント」十三「ゴロトニツク」)

筋力作用及滑弁作業(Slide Valve)ノ混合作業ニ由レルモノハ次ノ五鑛ニシテ本年中ニ六布度二十四

「フロント」五十八「ゾロトニツク」十三「ドリー」ニシテ内四布度三十八「フロント」六十二「ゾロトニツク」八十二「ドリー」ハ筋力作業ニ由レルモノナリ

其他ノ五十七金鑛ハ専ラ滑弁作業ニ由ルモノニシテ其浣淨ハ「手押車」「大車輪ヲ有スル輕車」廣板等ニテ行ハレ其採金量四十一布度八「フロント」四十二「ゾロトニツク」十四「ドリー」ニ達セリ

採金量表

作業名	年次	一九一二年	一九一三年
機業作業		八二九 五五 四一	八二六 三九 六六
筋力作業		一二二 八〇 九五	七二九 二〇 四五
滑弁作業		六五 三二 五六 六九	四一 八 四二 一四
合計		八七 四 一 一三	五七 二四 六 二九

右表ニ由リ本年ノ採金量カ前一九一二年ノ夫ニ比シ總計ニ於テ二十九布度半ノ減少ヲナセルヲ見ル可シ。即其最モ著シキハ滑弁作業ニ於ケル二十四布度二十四「フロント」ノ減少ニシテ比較的少キハ筋力作業ニ於ケル四布度三十二「フロント」ノ減少ナリ。機械作業ニ關シテハ前年ト殆ト大差ナシ本年ニ於ケル採金量二十九布度ノ減少ハ主トシテ「ニュージネセレムジン」採金會社ノ採金量カ前年ニ比シ十八布度減少セルト、「アー、デー、ラリオン」所有鑛及「ウエルフネアムール」採金會社所有鑛

カ各前年ニ比シ三布度減セルニ基因ス。而シテ前記「ニュージネセレムジン」會社及「ラリオン」所有鑛採金量減少ノ原因ハ兩鑛共殆ト其作業ヲ完了スルニ至リタルヲ以テナリ

其他各鑛ニ於ケル總計五布度半ノ減少ハ恐ラク浣淨ニ際シテノ含金量減少ニ由ルモノナルヘシ

勞働者

本年中操業シタル全金鑛ニ於ケル操業從事勞働者ハ總數百二十一萬九百五十六名ニシテ、内露天一萬六千三百三名支那人百四萬六千八百八十四名、朝鮮人五萬四千七百七十名、一日平均露天五百六十名支那人四千六百二十四名朝鮮人二百四十七名ノ割合ナリ

勞働者ノ最モ多ク要スル時期ハ夏期、六月ヨリ八月ニ至ル間ニシテ又最モ少キハ四月及十月トス。冬季ニ於ケル作業ハ小堅坑ニ由ル滑弁作業ニ由ル。滑石層ニシテ形成セラル、金坑ニテハ冬期ハ全然其作業ヲ中止シ、又人力及家畜ヲ使用スル即チ筋力作業ニ由ル金鑛ニ於テハ單ニ比較的多數ノ勞働者ヲ要セサル準備作用ヲ行フニ過キス。要スルニ夏期ハ採金及其浣淨ニ於テ最モ繁忙ナル時期ナルヲ以テ其勞働者需要數モ又最多數ヲ示スモノトス。

本年ニ於ケル勞働者數ヲ昨一九一二年ノ夫ニ比スレハ其採金量ノ減少セルニモ不拘、一日平均百七十名ノ増加ヲ見タリ。即チ之ヲ細別スレハ露天四十八名朝鮮人百四十九名減少シ、支那人ニ於テ三百

六十七名ノ増加ヲ見タルナリ。露人労働者ノ減少ハ主トシテ「ニュージネセレムジン」會社ノ作業縮少ニ由ルモノニシテ、同會社ハ前年一九一二年ニアリテハ、筋力作業ニ由ル其金鑛二箇所ニ於テ三個ノ浣淨機ヲ使用シタルモ、本年ニアリテハ兩鑛ニ於テ只一個ノ浣淨機ヲ使用セルニ過キサリキ

上記支那人労働者百七十九名ノ増加ニモ不拘、採金量ノ減少セルハ主トシテ操業日數ノ短期ナリシニ起因スルモノニシテ、右ハ本年中屢々當管區内採金鑛區ヲ犯シタル洪水ノ爲メ其操業中止ヲ餘儀ナクセラレタル結果ナリ

露人労働者ハ主トシテ筋力作業、機械作業ニ從事シ、又木工、番人、看守等ノ補助的事務ヲ執リ、<sup>ゾロトニツク</sup>滑弁<sup>トラボータ</sup>作業ニ從事スルモノハ極メテ罕ナリ。之ニ反シ黄色人労働者支那人及朝鮮人ハ殆ト皆滑弁作業ニ從事シ、其少數カ機械作業ニ由ル採金ニ際シ使用セラル、ノ外、罕ニ筋力作業ニ於ケル補助的業務或ハ商用事務ノ爲メ使用セラル、事アリ。是等労働者一日ノ標準賃金ヲ舉クレハ次ノ如シ。

(一) 機械、筋力、滑弁作業ニ由ル金鑛ニ於テ補助的の事務並商用事務ニ從事シ居ル露人労働者ノ賃金ハ一日一留二十五哥乃至二留ニシテ時ニ三留以上ノ收入ヲ得ルモノアリ。筋力作業ニ由ル金鑛ニ於テ直接採金ニ從事スル露人労働者ハ一日一留七十五哥乃至二留五十哥、又滑弁作業ニ從事スル露人労働者ノ受クル賃金ハ各其採金量「ゾロトニツク」ニ付受クルモノニシテ鑛坑ノ深淺ニ由リ多少差違アルモ平均二留乃至四留六十哥ナリ

(二) 朝鮮人労働者ノ賃金ハ露人労働者ノ夫ニ比シ、時ニ比較的低廉ナル事アルモ大部分露人労働者ノ夫ト大差ナシ

(三) 支那人労働者ノ賃金ハ器械作業並筋力作業ニ於テ補助的の事務ニ從事スルモノ一日一留乃至一留五十哥。滑弁作業ニ於テハ其採金量各「ゾロトニツク」ニ付一留九十哥乃至四留六十哥ナリ。尤モ是等賃金ハ含金量ノ多少、交通状態ノ如何ニ由リ一様ナラス、比較的含金量乏シク又交通不便ノ金鑛ニアリテハ時トシテ六十哥ニ滿タサル事アルモ、一方含金量豊富且便利ノ狀況ニアル金鑛ニテハ露人朝鮮人ト等シキ賃金ヲ受クルモノ又尠カラス

支那人労働者ノ平均日當額ハ本年ニ於テハ概シテ一留五十哥ヲ超過セザリキ

労働者ノ一ヶ月間ニ要スル總經費ハ其金鑛ト市場トノ距離、輸送機關ノ有無等ニ由リ多少ノ差違アルモ、露人獨身者及朝鮮人ハ十五留乃至二十五留、露人有妻者二十五留乃至四十留、支那人労働者ハ九留乃至十四留ナリ

當管區技師ノ調査セル賃金調ニ由レハ、其賃金中、食糧費ヲ表示セルハ「ニュージネセレムジャ」探金會社ノミニシテ同會社ニ於ケル筋力作業ニ從事スル露人労働者一名ノ食糧調次ノ如シ。

一 裸 麥  
二 生肉及鹽肉

二布度十「フント」  
一布度五「フント」

三 食	鹽	三「フント」
四 蕎	麥	十「フント」
五 牛	酪	一「フント」
六 紅	茶	一「キルビツチ」

一六

其他ノ一般採金業者ハ上記ノ如キ食量調ヲ作成セサリシモ、各其作業ニ應シ相當賃金ノ支給ヲナセ

### 採金作業術

本管區ニ於テハ「テイトワヤ」所有「ニュージネウルカン」及「エフファイミエフ」鑛ノ機械的作業ニ由レ  
 ルヲ除キ他ハ凡テ其金鑛採掘ニ人カト家畜トヲ使用スル筋力作業ニ由レリ  
 「テイトワヤ」所有鑛ニ於テハ先ツ其金層ヲ蔽ヘル六「チエツトウエルチ」乃至八「チエツトウエルチ」  
 ヲ越エサル泥炭ヲ土掘器ニテ排除シ、二輪馬車及孤輪手押車ニテ之ヲ運搬セリ  
 スクシテ露出セル含金層(約四「アルシン」)ヨリノ採砂ハ、其斷面ニ布設シタル軌道ニ、兩側ニ匙土  
 鑛ヲ具備シ、且四十馬力ヲ有スル土掘器ヲ自働的ニ推進セシムルノ方法ニ由レリ。而シテ其採掘セラ  
 レタル合金砂ハ淘汰式「トロッコ」ニ由リ二個ノ桶ヲ具備スル浣淨器(二十馬力ニテ一日工程)ニ運ハル。

同鑛ハ搖汰式「トロッコ」十六輛及三十馬力ノ小型機關車三輛ヲ有セリ  
 土掘器ノ作業及合金砂ノ浣淨ハ八馬力直狀單式「シリンドル」ニ由ル發電機裝置ノ電光ノ下ニ晝夜ニ  
 亘リ行ハレタリ。而シテ土掘器ノ晝間工程ハ六十立方「サージエン」乃至八十立方「サージエン」ナリ  
 浣淨ニ桶ヲ具備セル機械ヲ使用セルハ機械作業及筋力作業ニ由レル鑛坑ノミニシテ、滑弁作業ニ由  
 レル金鑛ハ凡テ「ブーダル」「大車輪」有スル輕車「廣板等」ニテ之ヲ行ヒタリ (終)

## 黑龍江洲管區ニ於ケル鑛山業

(一九一四年同區技師ノ報告ニ據ル)

一九一四年ニ於ケル當管區鑛山業ハ生石灰ノ採取ヲ除キテハ前年ト大差ナク、採金業ハ殆ト之ヲ盡セルノ觀ヲ呈セリ。石灰石採取ハ極メテ狹範圍ニ制限セラレ、石炭及耐火粘土ノ採掘ハ之ヲ實施スルニ至ラザリキ、是レ各鑛山ニ於ケル作業カ未ダ準備的作業ノ域ヲ脱スルニ至ラザリシヲ以テナリ

本年中當管區ニ新テ新採掘許可證ヲ下附セラレタルモノ石炭坑一個ニシテ、以前許可セラレタルモノ、中法律ニ由リ共効力ヲ失ヒタルモノ石炭採掘三個、鐵及石炭採掘三個、黑鉛及耐火粘土採掘三個ナリ

本年ニ於ケル生石灰ノ採取ハ「ブラゴベシチエンスク」ヨリ三百五十露里乃至三百五十五露里ヲ距ツル官有地二個所ニ於テ「セイイ汽船業會社」及「セイイ鑛山林業會社」ニ由リテ行ハレタリ

上記二個ノ石灰石鑛ニ於テ本年中使用セル勞働者ハ三千七百九十五名即チ一日平均三十五名ニシテ其採掘石灰石量十六萬七千三百布度、夫ヨリ得タル生石灰十一萬六千六百六十三布度ニ達セリ。生石灰ノ原價ハ原產地ニ於テ一布度二十二哥、「ブラゴベシチエンスク」及「アレクセイフスク」ニ於ケル市場ニアリテハ二十八哥乃至四十哥半ナルモ其賣價ハ三十四哥乃至四十八哥半ノ相場ヲ維持セリ



耐火粘土ニ就キテハ「コルマコフ」殖民地ニ於ケル「ゴールノボイシレンノエ鑛山業會社」所有「イワノフ」鑛當管區唯一ノ粘土鑛ナルカ、同鑛ニテハ本年ハ未タ其生産的採掘ヲ行ハサリシモ、其試掘ニ於テ百布度ノ耐火粘土ヲ得タルカ、同粘土ハ堅硬ニシテ強壓セラレタル、良好ナル性質ヲ示セリ。該粘土ハ「ブラゴベシチエンスク」市各學校ニ於テ粘土細工教授用材料トシテ一布度七十五哥（原價運賃共五十一哥）ニシテ賣拂ハレタルモ、今後同粘土ノ需要ハ黒龍江鐵道並各生産業會社使用材料トシテ又燒物用トシテ益々擴大ス可キ傾向ヲ有セリ

### 採 炭 業

本年ニ於ケル採炭業ハ二個ノ企業者ニテ代表セラレタリ。即チ其一ハ「デブ」河右岸（「デブ」河口ヨリ七十五露里）、「ゼイ」河左支流トノ合流點附近）ニ存在スル「バクロフ」炭鑛（面積四十一「デシヤチーン」）所有者「アムールスカヤウラロムリシレンノエ黒龍江石炭會社」、他ハ黒龍江鐵道「ビラ」驛ヨリ一露里半、黒龍江左支流大「ビラ」河左岸ニ存在スル四個ノ炭鑛（「ワンコフ、リユーベン、マルコフ」及「プリユトスニン」）ノ四鑛ニシテ總面積二百四十二「デシヤチーン」ヲ所有スル「ビルスコエカトシノウゴリノエビル石炭業會社」ナリ

本年ニ於テハ「ビル」石炭會社カ既ニ採掘シアリタル石炭三千六百九十六布度ヲ輸出セル外作業トシテ記ス可キモノナク、採炭ハ「バクロフ」炭鑛ニテ僅カニ行ハレタルニ止マル。本年中同鑛ニテ使用セ出ヲ見ルニ至ラサリキ

昨一九一三年中ニ採炭シタル九萬九千六百八十布度中五萬二千二百三十布度ハ昨年末ヨリ本年ニ亘リテ鑛山蒸氣機關燃料ニ使用セラレ、四萬八千四百五十布度ハ「イー、ペー、チエプリン」所有機械工場用燃料トシテ「ブラゴベシチエンスク」ニ輸出セラレタリ

本年ニ於テハ前年開掘セル傾斜層ニ沿ヒタル相互間二十「サージエン」ノ距離ヲ有スル二個ノ堅坑ヲ一層深ク掘鑿セリ。I. 3 X I. 65「サージエン」ノ横徑ヲ有スル第二號坑ハ三個ノ炭層ヲ縱斷セリ。即チ

- 第一層（長サ六「アルシン」深サ十「サージエン」）
- 第二層（長サ六「アルシン」深サ二十「サージエン」ニ「アルシン」）
- 第三層（長サ四「アルシン」深サ二十五「サージエン」）

I. 2 X I. 2「サージエン」ノ横徑ヲ有スル第一號坑（通風坑）ハ四「サージエン」ノ底部ニ於テ上記第一層ヲ又十二「サージエン」ノ底部ニ於テ第二層ヲ縱斷セリ、而シテ其斷面ニ於ケル各層ノ長サハ第一、第二層共ニ「アルシン」ニ過キス

探炭量表 (單位ハ布度)

探掘年次	數量
一九〇六—一九〇七年	試掘
一九〇八年	無
一九〇九年	無
一九一〇年	無
一九一一年	一一、三〇〇
一九一二年	五四六、九〇〇
一九一三年	九九、六八〇
一九一四年	一五、八〇三
總計	六九八、三六八

右探炭量表ニテモ知ラル、如ク當管區ノ石炭業ハ産業トシテハ未タ成功ヲ見ルニ至ラスハ、是レ主トシテ探炭地、需要地相互間ノ交通ノ便ヲ缺クヲ以テナリ

東部黑龍江鐵道運轉開始ニ由リ「ビル」礦ハ以上ノ障害ヲ除カレタルカ、斯業將來ノ發達ハ實ニ新炭礦ノ掘鑿ト企業家ノ努力並注意ノ如何トニ由ル

「デブ」河沿岸ノ炭礦ハ極メテ不良ナル状態ニアリ、若シ「デブ」河ノ航路改修行ハレザルニ於テハ如何ニ黑龍江石炭業會社幹部カ努力苦心スルトモ該炭礦ノ發達ハ期待シ得サルヘシ。尤モ水路部管理局ハ本年同河踏査ノ爲メ技師團ヲ派遣シタルカ實際同河ノ航行可能期ハ洪水ノ爲メ現在一ケ年中六十日内外ニ過キス、又「ゼヤ」河ニ於ケル石炭輸送ノ爲メ二十五露里未滿ノ輕便鐵道(或ハ高架鐵道)ノ建設ヲ要スルモ果シテ之ヲ望ミ得ヘキヤ否ヤ、更ニ石炭販賣ニ關シテモ、其航行期カ夏期即チ其原價ノ最モ低廉ナル時期ナルヲ以テ極メテ不利ノ狀況ニアリ

最後ニ「クフテリ」ンルウーグ「村」ヨリ四露里「ゼヤ」河左岸ニ於テ今年始メテ其試掘ヲ行ヒタル「イー、カー、グリヤ」ダソフ「所有」ノ炭礦ニ就テ記セサル可ラス。同礦ハ目下十七「サー」ジエン「六」アルシン「ノ」深サニ掘穿シタルカ未タ六「ウエル」シヨツク「乃」至十二「ウエル」シヨツク「ノ」長サノ三個ノ炭層ヲ發見セルニ過ギズ、而シテ井形坑ノ探炭ヲ目的トスル掘鑿ハ水流ノ激シキ爲メ緩漫ニ行ハレツ、アルモ(目下十五「サー」ジエン「ニ」止マル)「ゼヤ」河ニ接近セシムル爲メ(河岸ヨリ四分ノ一露里)最後迄其掘鑿ヲ繼續セラレン事ヲ望マサルヲ得ス

採金業

本年ニ於ケル採金ハ特ニ金坑ヨリノ探掘ニ由リ行ハレタリ。「ジャリン」ダ「河」上流ニ於ケル金礦「リ

「所有」ネチャーヤン(鑛)ニ對スル獨逸人ノ注目ハ本年ニアリテモ依然タリシモ、該鑛ニ於ケル探掘ハ極メテ狹範圍ニシテ單ニ前年試掘セル鑛坑ヲ試索セリトイフニ過キサリキ、斯ク其作業ノ緩漫ナリシハ明カニ企業者ノ資本缺乏ニ由レルモノニシテ、同鑛ノ作業ハ戰爭開始ト同時ニ之ヲ中止セリ

同鑛ノ生産的價值ニ就キ、單ニ厚キ堆積層ヲ以テ蔽ハレタル不整合金層ナルノ故ヲ以テ、該金鑛ノ性質狀態等ヲ充分究ムル事ナク、之ヲ云々スルハ尙早ノ感アルト同時ニ、又一方其含金量ニ就キ判斷ス可キ精確ナル材料ヲ有セサル時ニ於テ輕々シク其價值重大ナリトナシ得サルモノアリ、是レ該金鑛攻究ノ結果ハヤカテ當管區一般探金業者ノ目標トナル可キモノナレハナリ

正則ナル組織的探索ノ結果、新ニ發見セラレタル金鑛ハ一モナカリシモ、初メ盜探者ニ由ツテ發見セラレ、後「ゼー、イー、シロツク」氏ノ經營ニ移レル大「ヤヌイル」河岸(大「ウルカン」ノ左支流)ノ砂地ハ豐富ナル金產地ナル事明カナリ。是レ地方廳カ其防止ニ凡テノ手段ヲ盡セルニモ不拘、同地ニ於テ本年中尙千名以上ノ盜金者ヲ出セルニテモ知ラル可シ。然ルニ該砂地ニ於ケル探掘ハ一九一二年發令鑛山規則第六三六條ノ適用ヲ受ケ、過度ノ制限ヲ加ヘラレ、且黑龍江洲ニ於ル金鑛ノ大部分カ其探掘浼淨ニ發動機ヲ使用シ居ラストノ理由ヲ以テ其浼淨ニ五馬力以上ノ發動機使用ヲ禁止セラレタル結果該作業ハ消極的小規模ノ組織ノ下ニ單ニ賃金低廉ナル多數支那人ヲ使用スルニ止マルニ至レリ

技術上ノ見地ヨリスレハ、當管區ニ於ケル一般鑛山ハ試掘ト探掘作業トノ間ニ殆ト區別ヲ見ス、又試掘ニ際シテ其使用人數ニ全ク制限ナキヲ以テ、這般ノ事情ニ通セル金鑛所有者ハ一二年間試掘ト稱シ、試掘料金以外ノ租稅ヲ納付スル事ナク、全ク其課稅ヲ免レ居ルモノ多シ。明カニ漸次發達ス可キ傾向アル是等惡弊ヲ芟除スルハ目下甚タ困難ナルカ如ク、是等試掘地ニアリテハ多クハ鑛山警察ノ存在ヲ見ス、又萬一監督官ノ來ルアレハ企業家ハ直チニ一時支那人勞働者ヲ作業場ヨリ通竄セシメ、或ハ地方官憲ヲ籠絡シテ盜金者ノ如ク見做サシムル等ノ手段ヲ講シ居レリ

當管區ニ於ケル探金業振興方法トシテノ一般探金業者ヲ集會セシメ之ヲ善ク指導スルニアルモ、該方法ハ普遍的ニシテ屢繰返サレタルモノナリ。只注意ス可キハ當管區ニ於ケル移民區間交通狀態改善ノ急務ナル事ニシテ如何ナル産業ト雖モ道路無ク郵便電信無キ地ニ正シク發達スル事アラサルヘシ

提出官廳名

一九一四年一月一日  
現在在 數

書  
一九一四年中  
許可 濟

數  
一九一五年一月一日  
現在未決ノ分

管區技師局  
アルバジン村廳  
ラデフ村廳

一二四  
一七〇  
二二

三一七  
一七三  
二七

二五

三四三  
二〇四  
三三二

計

一九一四年中移動ニ關スル分

三一五

五一七

二六

五七九

願書手續ヲ誤リ又ハ規定期間中ニ探掘ニ着手セザリシ爲メ登録取消ヲ受ケタルモノ

一七七

願出場所ノ既ニ他ニ許可済トナリシ爲メ其願書ヲ却下セラレシモノ

四五

願出場所ニ對シ試掘許可證ヲ交付セラレタルモノ

三六

許可取消金鑛中再拂下ノ新告示ヲナセルモノ

四三

本年ニ於ケル該願書提出數ハ著シク増加シ、之ヲ前年ニ比スレハ一倍半ニ達セリ。増加ノ原因ハ之ヲ大別シテ、第一、黒龍鐵道工事續行セラレタルヲ以テ右工事關係者カ多數其沿線金鑛探掘願書ヲ提出セルト、第二、「オリガ、ウルンガ」其他河川ニ於テ盜採ノ結果富有トナレルモノ、其惡評ヲ避クル爲メ願出タルモノトノ二種ニ分ツヲ得ヘシ。願書ノ多數ハ概シテ投機的性質ヲ帶ヒ其出資者モ不確實ナルモノ多カリキ

一九一四年一月一日調査ニ由レハ、當管區現在探金企業者數五十一、金鑛百五十九個、敷地二個（總面積一萬三千九百三十三「デシヤチーン」）ナリ。而シテ一九一五年一月一日ニ於テハ何レモ著シク増加シ企業者六十六、其金鑛百八十個（總面積一萬五千七百四十九「デシヤチーン」）（内敷地二個（七「デシヤチーン」）ヲ含ム）ニ達セリ。以上ノ計算ニハ一九一三年度租稅未納ノ爲メ本年三月二日迄ニ其發掘權ヲ停止セラレタル鑛坑ヲ加算セス

一九一四年ノ移動

鑛區技師ノ認定ヲ經タルモノ

私有  
官有

二五  
二

「イルクツク」鑛山管理局カ拂下ケヲナシタルモノ

九

一九一三年地租未納ノ爲メ官有ニ編入セラレタルモノ

三八

「イルクツク」鑛山管理局カ新ニ拂下ノ告示ヲナシタルモノ

九

### 探 金

現在當管區ニ於ケル探金企業ハ六十六會社ニシテ其金鑛百八十個、總面積一萬五千七百四十九「デシヤチーン」ニ亘ル。而シテ本年中探金ヲ行ヒタルモノハ内三十五會社其金鑛六十六個（面積六千九百七十七「デシヤチーン」）ニシテ他ノ百十四個、金鑛（内二個ノ敷地ヲ含ム）八千七百七十一「デシヤチーン」ハ未開掘ニ屬セリ。尤モ企業許可ヲ得タル上記六十六會社中三十一會社ハ實際其事業ヲ開始セザリシモノナリ

本年中探金ヲ行ヒタル 上記六十六金鑛ニ於テ洗淨セル 含金石ハ六千六百六萬二千六百二布度ニシ

テ、其平均含金量百布度ニ付三十五「ドーリ」半ノ割合ナリ。而シテ其採金總額六十三布度三十一「ブント」九十四「ゾロトニツク」四十八「ドーリ」ニ達セリ。尙ホ右作業ニ使用セル労働者ハ四千五百十八名ナリ

本年中各金鑛ニ於テ其含金量ノ最モ多カリシハ「ゾロトニツク」三十二「ドーリ」乃至「ゾロトニツク」四十七「ドーリ」ニシテ其金鑛ハ「ウエー、アー、ガウリロフ」會社所有「ウエール」鑛（「ゼヤ」河ノ右支流「エルトイシ」河岸ニアリ）「アー、アー、シエシウノフ」氏所有「ブラゴスロウエンノ」鑛（「ゼヤ」河左支流「ベズイメヤンヌイ」河岸）及「ニユージネセレムジン」會社所有「カザン」金鑛（「セレムジン」河右支流「マールヤブダカ」河岸）等ナリ

含金量ノ最モ少ナカリシハ前年ト同シク「エー、エー、テイトワヤ」氏所有「ニージネウルカン」及「エフイミエフ」金鑛ニシテ十四「ドーリ」半乃至十五「ドーリ」ナリ。同所ハ「マールイウルカン」ノ右支流「スルチャイヌイ」小河ノ河畔ニアリ機械的作業ニ由リ採掘セルモノナリ

更ニ上記各金鑛平均含金量中ニハ上黒龍江採金業會社所有「ジャリンド」金鑛及「エム、アー、アー、ト」バス「會社所有」インノケンチエフスク」金鑛ノ兩廢鑛ヲモ合マレタルヲ特ニ注意スルヲ要ス。若シ該廢鑛ヲ除外スレハ一般金鑛ノ浚淨採金量ハ實ニ百布度ニ付四十四「ドーリ」ニ達セリ

### 採掘作業方法

本年ニ於テモ其作業方法ニ何等ノ新機軸改善ヲ見ル能ハザリシハ遺憾トスル所ナリキ。エー、エー、テイトワヤ「所有」兩鑛（「ニージネウルカン」及「エフイミエフ」）ノ二鑛ニシテ採金ニ土掘器ヲ使用シ、浚淨ニハ二個ノ桶ヲ具備スル浚淨器ヲ使用セリヲ除キテハ凡テ筋力作業ニ由リ夏期（自四月一日）ハ露天ニ於テ之ヲ行フモ他期ハ地下ニ於テ焚火ノ力ヲ藉リテ之ヲ行ヘリ

採掘法ハ其作業ノ方法ニ由リ三種ニ分タル。即チ

- 一、筋力作業ニ由ルモノ
- 二、滑弁作業ニ由ルモノ
- 三、混合作業ニ由ルモノ、即チ一部ハ筋力作業、一部ハ滑弁作業

第一、即チ筋力作業ニ由ル金鑛次ノ如シ  
（イ） 上記「テイトワヤ」所有「ニージネウルカン」及「エフイミエフ」兩鑛ニ於テハ泥炭排除ハ筋力作業ニ由ル採金ハ機械的作業ニ由ル、即チ合金砂ノ採集ハ多クノ匙土杓ヲ有スル土掘器ヲ使用ス該器ニ由リ採集セラレタル合金砂ハ其匙土杓ヨリ鐵製「トロツコ」ニ移サレ、「トロツコ」ハ蒸氣機關ニ由リ運轉セラレ、「エレベーター」ニテ上下スル二個ノ桶ヲ具備スル浚淨器内ニ輸送セラル、

ナリ。本年中兩鑛ニテノ採金量ハ七布度九「フント」三十四「ゾロトニツク」二十「ドーリ」ニ達セリ  
 (ロ)「オリドイ」河支流「カメニスト」河岸「アー、エム、リフマン」氏所有「コンスタンチノーフ」鑛ニ  
 於テハ露出セル斷層面ヨリ筋力作業ヲ以テ含金砂ノ採集ヲナシ、四個ノ小「クリピンク」ニテ浣淨  
 ヲ行ヘリ。而シテ水流不足ノ場合ニハ特ニ約二町半ニ亘リテ敷設セル軌道ニ十七臺ノ「トロツコ」  
 ヲ運轉シ「ハイクト」河ニ輸送ス。本年中同鑛ニテノ採金量六布度七「フント」三十九「ゾロトニツ  
 ク」三十七「ドーリ」ニ達セリ

(ハ)「エー、ウエー、パウロフ」所有「アレクサンドロフ」鑛及「アー、アー、シエシウーフ」所有「ブ  
 ラゴスロベン」鑛ノ兩鑛ハ本年始メテ開鑿ヲ試ミタルモノナルヲ以テ、其試掘作業モ微々タルモノ  
 ニシテ其浣淨ノ如キ手押車ヲ以テ之ヲ行ヒ、從ツテ其採金量モ五「フント」六十六「ゾロトニツク」  
 三十七「ドーリ」ニ過キス

第三、混合作業ニ屬スルモノニ、「ニージネセレムジン」會社所有「ウエシヨールイ」及「カザンスキ  
 ー」(「セレムジン河ノ下流」ノ二鑛アリ)「ウエシヨール」鑛ハ其浣淨ニ際シ一個ノ桶ヲ具備スル浣淨器  
 ヲ使用シ、筋力作業ニ由リ四布度二十二「フント」二十九「ゾロトニツク」、滑弁作業ニ於テ三十七「フン  
 ト」十五「ゾロトニツク」ヲ得タリ。「カザンスキー」鑛ニ於テハ浣淨ニ際シ三十八個ノ手押車ヲ使用  
 シ、滑弁作業ニ於テ十二布度十五「フント」四十四「ゾロトニツク」、又筋力作業ニ於テ五「ゾロトニツ

ク」三十三「ドーリ」ヲ得タリ

他ノ五十九鑛ハ第二作業、即チ滑弁作業ニ由ルモノニシテ其浣淨ニ「手押車」「大車輪ヲ具備スル輕  
 車」木板等ヲ使用シ總計四十五布度二十七「フント」十六「ゾロトニツク」六「ドーリ」ヲ得タリ

採金量表

作業名	年次	
	一九一三年	一九一四年
機械作業	八 二六 三九 六六	七 九 三四 二〇
筋力作業	七 二九 二〇 四五	一〇 三五 四四 二二
滑弁作業	四 一 八 四二 一四	一五 二七 一六 六
總計	五七 二四 六 二九	六三 三一 九四 四八

右表ニテモ知ラル、如ク當管區本年ノ採金量ハ昨一九一三年ノ夫ニ比較シ六布度七「フント」八十八  
 「ゾロトニツク」十九「ドーリ」ノ増加ヲ見タリ、此増加ノ原因ハ主トシテ筋力作業滑弁作業ノ結果ニ由  
 ル

採金量ノ増加ハ「スリフマン」所有「コンスタンチン」鑛(含金量平均、含金砂百布度ニ付九十九「ド  
 リ」ノ新鑛ナリシニ由ル、然レドモ遺憾トスルハ同鑛ノ含金砂量豊富ナラザル事ナリ。滑弁作業ニ由

ル採金ノ多カリシハ「ニージネセレムジン」會社所有鑛ノ採金量豊富ナリシニ因ル。(同社所有「カザンスキ」鑛ノ採金量ハ十二布度十五「フント」四十九「ゴロトニツク」三十三「ドリー」ニシテ平均一「ゴロトニツク」四十一「ドリー」ナリキ)

之ニ反シ機械作業ニ由ル採金ハ昨年ニ比シ一布度十七「フント」五「ゴロトニツク」四十六「ドリー」減少シタルガ右ハ「ニージネウルカン」及「エフフイミエフ」鑛ノ含金量減少ニ基ク(同鑛ニテハ其含金量一九一三年ニアリテハ砂百布度ニ付十九「ドリー」ナリシモ本年ニ於テハ十四「ドリー」乃至十五「ドリー」ニ減少セリ)

概説スレハ本年ニ於ケル採金業ハ昨年ニ比シ多少ノ増加アリ、即チ金鑛ニ於テ二個、企業ニ於テ四個ノ増加ヲ見タルナリ

### 勞働者

採金業者ノ提出セル報告ニ由レバ、本年中各金鑛ニ於テ作業ニ従事セル勞働者數ハ總計百五萬五千二百九十七人ニシテ之ヲ國籍別スレバ露人十三萬四千四百八十三名、支那人八十六萬八千六百四十名、朝鮮人五萬二千七百七十四名ナリ。即チ一日平均露人五百十六名、支那人三千七百七十九名、朝鮮人二百二十三名ノ割合トナル。尙本年中當管區各金鑛ニ於ケル使用勞働者數月別並國籍別調次ノ如シ

月次	國籍			總計
	露人	支那人	朝鮮人	
一	一〇、五八三	五五、二六三	三、二〇六	六九、〇五二
二	九、七五〇	六四、七四一	二、九七三	七七、四六四
三	一〇、三三八	五三、一三六	四、九五六	六六、四三〇
四	一〇、九五七	四二、〇九四	四、九九九	五八、〇五〇
五	一六、二二四	七一、三〇三	三、八一九	九一、三四三
六	一四、四二七	一一六、一七一	七、六四九	一三八、二四七
七	一三、九九九	一一九、八九〇	六、四八七	一四〇、三七六
八	一三、三五六	一〇五、一六八	四、六二五	一二三、一四七
九	一〇、〇一四	七五、三八一	三、五〇一	八八、八九六
十	八、二〇七	三五、三二〇	四、一七三	四七、七〇六
十一月	八、五二〇	六〇、一〇二	三、二九四	七一、九一六
十二月	八、一〇六	七〇、〇七〇	二、四九二	八〇、六七〇
總計	一三四、四八三	八六八、六四〇	五二、一七四	一、〇五五、二九七

之ヲ昨一九一三年ニ比スレバ露人勞働者ハ總體ニ於テ一萬八千三百八十名増加シタルモ、一日平均數ニ於テハ四十四人ノ減少ヲ見タリ、是レ一見甚ダ矛盾セル如キモ然ラズ、最多數ノ露人勞働者ヲ使用シ居ル二個ノ金鑛「テイトワヤ」所有「ニージネウルカン」及「エフフイミエフ」ニ於ケル操日數ガ

前年ニ比シ著シク増加セルニ基クモノナリ

三四

支那人及朝鮮人労働者ハ昨一九一三年ニ比スレバ兩者共減少ヲナセリ、即チ其減員數支那人十七萬二千四十四人、朝鮮人千九百九十六人ニシテ一日平均支那人八百四十五名朝鮮人二十四名ノ減少ナリ  
露人労働者ハ主トシテ筋力機械作業並滑弁作業ニ於ケル補助の事務(番人、看守、鍛冶、大工、馬世話人等)ニ従事シ、直接滑弁作業ニ従事スルモノハ極メテ罕ナリ。支那人朝鮮人ハ之ニ反シ殆ト凡テ滑弁作業ニ従事ス

労働者ノ雇入條件、勞銀、食費、醫藥費等ニ關シテハ前年ト何等ノ差違ヲ認メス

機械的筋力作業ニ由ル鑛山ニ於ケル露人労働者(補助の事務ニ従事スルモノ)ノ勞銀ハ一留四十五哥乃至二留十二哥ニシテ其平均賃金一留八十哥ナリ

朝鮮人労働者ノ勞銀ハ之ニ比シ稍低廉ナルモ殆ト上記ノ標準ニ近シ。支那人労働者ハ前述セル如ク大部分滑弁作業ニ従事シ居ルモノナルモ其勞銀ハ坑内作業地域ノ深淺、採掘砂含金量ノ多少、其金質ノ如何等ニ由リ著シク差違アリ。從ツテ多キハ二留ニ達シ少キハ五十哥ニ止マルモ其平均一留二十八哥ナリ。只茲ニ注意ス可キハ勞銀等カ時トシテ其採金ヲ該事務所ニ納付セサル事アル結果屢々其勞銀ノ著シキ値上ヲ行フ事アル事ナリ

糧食及日用品ノ改正價格ハ本年末ニ於テ實施セラレタルモノナルヲ以テ労働者ノ日額經常費ハ前年

ト大差ナシ。即チ各鑛山ノ位置ニ由リ多少ノ差違アルモ一般ニ露人並朝鮮人労働者ハ十五留乃至二十五留。同有家族者二十五留乃至四十留支那人労働者ハ九留乃至十四留トス

本年中管管區ニ於ケル傷害事故ハ三件ニシテ五名ノ死傷者(露人一名支那人四名)ヲ出セリ。事故ハ何レモ金坑内ニテ發生セシモノニシテ、坑内作業場ニ於テ「アルシン」ノ高所ヨリ落下セル鑛塊ノ爲メニ右足ヲ挫折セシモノ支那人一名、坑内採掘作業中崩壞ノ爲メ壓死セルモノ露人一名、而シテ他ノ三名ハ夜間、終業後盜採金ノ目的ヲ以テ廢鑛ニ潛入シ崩壞ニ遭シ壓死シタル支那人ナリ

本年中、其使用労働者ニ關シ罰金ヲ課セラレタル企業者ハ一名モナカリシカ、労働者僱人規則違反トシテ課セラレタル罰金七十五留アリタリ、右ハ鑛山労働者傷病救濟費中ニ算入セラレタリ

### 採金作業術

本年ニ於ケル作業術ハ「アー、エム、リフマン」氏所有「コンスタンチン」鑛ニ於テ含金砂輸送用トシテ十七輛ノ「トロツコ」ヲ短距離軌道ニ運轉セルト、「アー、アー、コロレフ」所有「サユージ」鑛「グマムイヌ」河道ニ於テ行ヒタル、長棹ニ匙土杓ヲ固着シ、特ニ設備セル渡船ニ由リ之ヲ左右スルノ方法ヲ以テスル採金法トヲ除キテハ何等ノ進歩改善ヲ見ルヲ得サリキ。技術的作業ノ發達ヲ認ム可キハ「テイトワヤギ」ノ「ウルカン」及「エフアイミエフ」鑛ノミニシテ同鑛ニテハ「プチエロフ」工場ニテ製造セル

三五



多數匙土杓ヲ具備スル強力ナル土掘器四十個ヲ使用セリ。是等ノ土掘器ハ單ニ含金砂採集用ニノミ使用セラレ、泥炭排除ハ筋力作業ニ由リテ之ヲ行ヘリ。又泥炭輸送ハ一部ハ二輪馬車ニテ一部ハ手押車ニテ行ハレタリ。土掘器ヨリノ含金砂ノ受入ハ二個ノ桶ヲ具備スル浣淨器ニテ行ハル。而シテ右作業ハ特ニ設置セル軌道ヲ蒸氣力ニテ運轉スルニ由ツテ行ハル、モノニシテ、如上ノ目的ノ爲メ該鑛山ハ現在三十馬力ノ機關車三輛、底開キ「トロツコ」四十八輛ヲ所有ス。作業ハ晝夜交代ニ行ハレ、夜間ハ電燈ヲ使用ス、而シテ土掘器一晝夜間ノ工程ハ季節及天候ニ由リ多少ノ差違アルモ平均百立方「サージェン」乃至百六十立方「サージェン」ニシテ時ニ百九十立方「サージェン」ニ達スル事アルモ罕ナリ本年ハ春期寒冷ナリシ爲メ解氷期モ遅ク、從ツテ土掘器操業ニ於テ昨年ニ比シ一布度十七「フント」五「プロトニツク」四十六「ドーリ」ノ減少ヲ見タリ

本年中當管區鑛山及金鑛ニ於テ採金浣淨石灰焙燒等ノ爲メ使用セル機械裝置、發動機並蒸氣機關等ヲ擧クレハ次ノ如シ

- 一、「テイトワヤ」所有「ニージネウルカン」及「エフフイミエフ」鑛
- (イ) 二個ノ桶ヲ具備スル採金浣淨器一個、右ハ二十馬力ノ機關（其蒸氣作用面積二百十九平方「フット」）ノ運轉ニ由リ一晝夜平均工程百六十立方「サージェン」ナリ
- (ロ) 抗道昇降器一個、右ハ十八馬力（其蒸氣作用面積二百二平方「フット」）ノ機關ニテ綱條ノ轉

送ヲ行フニ由リ運轉セラル

- (ハ) 四十馬力（其蒸氣作用面積百七十七立方「フット」）運轉式土掘器一個
- (ニ) 三十馬力ノ汽罐車三輛（其蒸氣作用面積二輛ハ百七十七平方「フット」、一輛ハ百九十八平方「フット」ナリ）

(ホ) 發電機一個。（其蒸氣作用面積九十平方「フット」ヲ有スル直狀瓦斯「バイプ」機關ニ由リ、八馬力直狀單式「シリンドル」ヲ運轉シテ發電セシムル裝置ナリ）

(ヘ) 錠鍛冶機械類、砥石機、鑽孔機、鉋機等ニシテ「ホ」項ニ示セル直狀蒸氣機ノ晝間作業時ニ於ケル運轉ニテ行ハル

二、「ニージネセレムジン」會社所有「ウエシヨールイ」鑛

(イ) 一個ノ桶ヲ具備スル採金浣淨器一個、二十馬力蒸氣機關（其蒸氣作用面積二百六十立方「フット」）ノ運轉ニ由リ晝間作業時ノ平均工程四十立方「サージェン」ナリ

(ロ) 離心筒唧筒一個、採金浣淨器灌水送水用トシテ使用ス

三、アー、アー、コロレフ氏炭礦

(イ) 「ブリヅメートル」四個

(ロ) 蒸氣作用面積八十九平方「フット」ヲ有スル運轉式蒸氣機關一臺

四、黑龍江探炭會社所有「ボクロフ」炭礦

(イ) 「ウォルチングトン」式十四馬力唧筒二個

(ロ) 「瓦斯」バイブ「蒸氣機關二個(其蒸氣作用面積一個ハ二百二十四平方「フット」、他ハ二百七十八平方「フット」トス)

(ハ) 第二號堅坑ヨリ石炭及鑛石引上用トシテ馬力捲轆轤一個

五、「エム、エム、グリヤダソフ」炭礦(「グフテリヤンルイグ」附  
近「セイ」河岸ニ在リ)

(イ) 「ブリヅメートル」二個

(ロ) 「シウホフ」氏直狀水筒蒸氣機關一個(其蒸氣作用面積八十平方「フット」)

六、「ゼイ」汽船產業會社所有鑛

生石灰焙燒爐一個

七、「ゼイ」鑛山山林會社所有鑛

生石灰焙燒爐一個

本年中、當管區鑛山及金鑛ニテ行ハレタル發動機類其他ニ就キ約言スレハ次ノ如シ

(一) 蒸氣發動機八個

(イ) 四十馬力運轉式土掘器一個

(ロ) 各三十馬力ノ汽罐車三輛

(ハ) 蒸氣車三輛(二十馬力二個  
十八馬力一個)

(ニ) 八馬力直狀單式「シリンドル」機一個

(二) 馬力使用一個

(三) 蒸氣機關十二個(其蒸氣作用面積二千八十平方「フット」)

(四) 「遠心筒唧筒」一個

(五) 「ブリヅメートル」一個

(六) 「ウォルチングトン」式唧筒二臺

(七) 發電機一個

(八) 錠鍛冶機類(砥石機、鑽孔機、鉋機等)

(九) 採金洗淨器二個(内一個ノ一日作業工程八十立方「サージエン」他ハ四十立方「サージエン」ナリ)

(一〇) 機械的昇降器一個

(一一) 生石灰焙燒爐二個

之ヲ前一九一三年ニ比スレハ蒸氣發動機作業ハ變化ナキモ馬力作業ハ一個減セリ。蒸氣機關作業ハ

二個減シタル結果、其蒸氣作用總面積ニ於テ百四十五平方「フット」減少セリ。桶ヲ具備スル採金洗淨器數ハ異動ナシ。遠心筒唧筒ハ二個減シ、「ブリヅメートル」ハ一個増加セリ。「シリンドル」裝置「ボンブ」ハ皆無ナリシモ「ウオルチングトン」式唧筒ハ二臺増加セリ。生石灰焙燒爐ハ一個減セリ

桶ヲ具備スル採金洗淨器ニ於テノ洗淨ハ筋力作業ニ於テノミ行ハレ、滑弁作業ニ於テハ前年ノ如ク「手押車」大車輪ヲ有スル輕車「扁平箱」等ヲ以テ行ハレタリ

本年中、爆發物使用許可ヲ得タルモノハ「ゼイ」鑛山林業會社ノミニシテ同社ハ鑛山作業ニ要スル一布度ノ火藥使用許可ヲ得、其三十三「フント」半ヲ使用シタリ。其他各鑛山業會社ノ倉庫中ニ現存スルモノ「ダイナマイト」六布度、火繩一〇〇「クルーガ」、雷管千四百四十個ナリ。一九一四年ニ於ケル爆發物消費數ハ「ダイナマイト」五布度二十二「フント」、火藥三十三「フント」半、火繩七十二「クルーガ」、雷管九百四十二個ニシテ前年度ノ消費高ハ「ダイナマイト」四布度二「フント」、火藥三十三「フント」半、火繩五十一「クルーガ」、雷管六百八十個ナリ。而シテ一九一五年一月一日ニ於ケル倉庫在中現在數ハ「ダイナマイト」十九「フント」、火繩二十九「クルーガ」、雷管百五十八個ナリ

本年、爆發物ヲ使用シタル企業者ハ前年ト同シク黑龍江採炭會社、「ゼイ」鑛山林業會社ノ二者ニシテ前者ハ第二號堅坑掘鑿ノ際使用シ、後者ハ石灰石碎鑛ニ際シ之ヲ使用シタリ

## 衛生

當管區ノ衛生狀態ニ關シテハ本年ニ於テ何等ノ變化ヲ見サリキ。勞働者並其家族ハ凡テ作業場又ハ其附近ニ設置シアル病院或ハ療養所ニ於テ無料ニテ其治療ヲ受クルコトヲ得

本年中新ニ設置セラレタルハ療養所付病院三及療養支所十四ニシテ、療養支所ハ三十四名ヲ收容シ得ヘキ設備アリ

病院所在地ニ就キ略述セハ「エー、エー、テイトワヤ」所有「ウルカン」金鑛ニハ一ノ病院アリテ、男子、女子、傳染病部ノ三部ニ分レ、男子八名、女子二名、傳染病者三名ヲ收容シ得ヘク其總面積七十九立方「サージエン」ナリ。「ニージネセレムジン」會社所有「スレートン」鑛山ニ於ケル病院ハ男、女ノ二部ニ分レ、六名ヲ收容シ得ヘク其面積十八立方「サージエン」半ナリ。「アー、アー、コロレフ」氏所有「ベレゴフ」鑛山ニ於ケル病院ハ二名ヲ收容シ得ヘク其面積十二立方「サージエン」ナリ。醫員ハ總計十六名ニシテ、右ノ外「ジャリンドウルカン」金鑛ニ於テハ本年特ニ黑龍江洲軍第一部隊軍醫一名ヲ年酬二千留ニテ招聘セリ

採金業者ノ報告ニ由レハ本年中醫療ヲ受ケタルモノハ外來、入院者共約五千五百五十名ニシテ内死亡者十四名アリタリ。比較的患者ノ尠キハ支那人ノ多數カ自己獨特ノ療法ニ由リ露人ノ治療ヲ受クル

モノ極メテ罕ナルニモ起因ス。病氣ハ熱病、「リウマチス」、胃病等多ク傳染病ハ皆無ナリキ

雜

當管區ニ於ケル二個ノ學校ハ本年中何レモ授業ヲ行ハサリキ。教會ハ從前ノ如ク二個ニシテ一ハ「ウエルフネアムール」(上黑龍江)採金會社所有「ラリン」鑛山地「アレキサンドロフ」街ニアリ。他ハ「タイトワヤ」所有「ウルカン」金鑛ニアリ、禮拜ハ隨時「ルフロウオ」(町名)ヨリ宣教師ノ來レル時ヲ以テ行ハル

其他本管區ニ於テ特筆ス可キモノナキモ、一般重要事トシテハ本年我カ露國カ獨逸及埃太利ニ對シ宣戰ヲ布告セル事ニテ當管區從業豫備兵ニ對シテハ九月十五日ヲ以テ動員令ヲ布カレタリ。然レトモコノ露人勞働者ノ徵募ハ一般作業ニ左程ノ影響ヲ及ホスニ至ラサリキ

鑛山管理局カ本年中收得セル各稅額ヲ舉クレハ次ノ如シ

稅別	金額
金鑛地所有稅	五十一留八十四哥
地租並金鑛所有權ニ對スル一割ノ附加稅	一萬七千九百十九留五十五哥
金鑛使用繼續年稅	九百留

金鑛試掘權取得稅	七千四百三十留
鑛山作業地使用年稅	五百二十一留七十七哥
鑛山探掘權所有稅	三十留
總計	二萬六千八百六十三留 十六哥

其他本年ニ於テ一九一三年及一四年ノ納稅名簿ニ由ル蒸氣機關使用者ヨリノ納金二百五十一留二十哥アリタリ。又鑛山局ノ特別費目、即チ傷病勞働者ノ扶助費ニ編入セラル可キ費目トシテハ傭人雇入規則違反トシテ採金業者ニ課セラレタル罰金七十五留アリタリ

備考 黑龍江洲ニ於ケル一九一一年ニ於ケル採金額ヲ舉クレハ次ノ如シ

作業名	採金量
機械作業	一五
筋力作業	一八
滑傘作業	一六
總計	一〇〇

黑龍江沿岸地方ニ於ケル鑛山業

一九一三年鑛山管區技師ノ報告ニ據ル

黒龍山管区ニ於ケル炭山業

一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、百

目次

烏蘇里鑛山管区ニ於ケル鑛山業.....一頁

沿海洲鑛山管区ニ於ケル鑛山業.....五七

スウチヤン炭礦.....六六

目次

烏蘇里鑛山管區ニ於ケル鑛山業……………一

探炭業……………一

探炭量……………五

石炭ノ販路……………七

探炭作業……………一四

機械的作業……………一六

炭礦ニ於ケル通風裝置……………二〇

一九一四年ニ對スル計畫事業……………二一

金屬鑛業……………二二

鑛石ノ販路……………二五

テテユーヘ會社ノ事業……………二六

テテユーヘ會社キリロフスキ坑ニ於ケル坑道……………二八

亞鉛ノ製煉……………二九

テテユーへ會社鐵道及船舶部ノ事業	二九
鑛石ノ價格	三〇
一九一四年作業ニ對スル計畫ニ就テ	三〇
採金業	三一
石坑	三四
勞働者	三六
石炭及褐炭礦	三七
金屬鑛	三八
石坑	三八
粘土坑	三九
各炭鑛勞銀表	四〇
勞働者仕事別勞銀表(貽費自辨)ノ一	四一
同 (貽費付)ノ二	四二
テテユーへ會社	四三
金鑛	四七

石坑及粘土鑛	四七
勞働者ノ住居	四七
醫療設備	五〇
教育機關	五三
技術員	五五
沿海洲鑛山管區ニ於ケル鑛山業	五七
スウチャン炭礦	六六
炭礦管理所ノ組織	六七
病院	六八
住宅ト經費	六八
郵便	六九
教會及學校	六九



## 烏蘇里鑛山管區ニ於ケル鑛山業

(一九一三年烏蘇里鑛山管區技師ノ報告ニ據ル)

烏蘇里鑛山管區内ニ於テ本年中採掘ニ從事セル主要鑛山ハ炭礦(石炭及褐炭)及金屬鑛(錫、亞鉛及少量ノ鐵、銅、金)ニシテ、猶「セメント」原料用石灰石並建築用石材ノ採取モ多少之ヲ行ヒタリ。而シテ上記ノ各鑛石ハ何レモ原料ノ儘市場ニ輸送セラル、モノニシテ、金屬製鍊ハ行ハレサリキ

### 採 炭 業

本年中、國有財産管理局ニ於テ石炭採掘許可證ヲ交付シタルモノ二十九件ニ達シタルモ、内實際ニ採掘ヲ爲セルモノハ十一箇所ナリキ。而シテ猶採掘許可ヲ爲ス可キモノ十一箇所アリ

次表ニ示ス如ク當管區内ニ於ケル炭礦ハ官有地ニ於テ四十二箇所、「ニコリスクウツスリースク」町ニ於テ二個所總計四十五箇所ニシテ、内作業中ノモノ二十六箇所、未採掘ノモノ十九箇所ナリ。尤モ右作業中ノモノト雖實際ニ採掘ヲ爲シツ、アルハ十箇所ニシテ、他ノ十六箇所ハ僅カニ最少限度ノ義務的採掘ヲ爲シ居ルニ過キス

一九一三年現在烏蘇里洲ニ於ケル石炭礦表





褐 炭

總 計

六百三十九萬八千八十四布度  
一千六十二萬六千二十五布度

六

之ヲ昨千九百十二年度ノ採炭量ニ比スレハ實ニ八十七萬二千三百八十四布度ノ増加ナリ  
試ミニ最近二ケ年ニ於ケル採炭量比較表ヲ示セハ次ノ如シ

企 業 者 名	採 炭 量		
	一 九 一 一 年	一 九 一 二 年	一 九 一 三 年
鑛山技師エル、エル、アルツト	六、二〇〇	四、八七、七三	五、四八、二〇
オー、ウエー、リンドゴリム商會	二、三三、九〇		一、四六、三三九
エル、シエー、スキデリスキー			八三〇、五四二
ア、カー、スエドローフ	一、八五、〇〇〇		二、九五、〇〇〇
デー、エス、ボロジナ	二、二五、九七七		二、九二、二六五
エム、ペー、オルダゴフスカヤ		四、七、七五四	
エス、カー、グールスキー相續者		三、九、三三七	
ユー、イ、ブリユネル	一、一〇、〇〇〇		一、一〇、〇〇〇
	五、〇八、二一四	四、七五、五七七	四、二七、九四一
			六、三九、八〇八

之ヲ前年即チ一九一二年ニ比較スレハ石炭ニ於テ八十一萬七千七百三十三布度減少シ、褐炭ニ於テ百六十八萬二千五百五十七布度ノ増加セルヲ見ル、前者ハ「オー、ウエー、リンドゴリム」商會及「ボロジナ」所有鑛ニ多量ノ持越アリタルト、地方ニ於ケル販路ノ増加無カリシトニ基クモノニシテ、後者即チ褐炭増加ノ原因ハ黒龍江鐵道（ハバロフスク）ニ於ケル需要ヲ新ニ得タルト、東清鐵道ヘノ供給額増加トニ因ルモノトス

石 炭 ノ 販 路

本年中上記ノ各企業者ニテ販賣セル石炭額次ノ如シ

石 炭	四、三一九、九八〇	三、三二一、三〇六
褐 炭	六、二四〇、一八〇	四、三三三、七七九
總 計	一〇、五六〇、一六〇	七、六六〇、〇八六

更ニ之ヲ細別スレハ次ノ如シ

一 鑛山技師「エル、エル、アルツト」氏所有ノ分

イ 東清鐵道ヘ一三百七十萬九千七百四十四布度、其價格二十五萬二千八百六十二留四十八哥

ロ 黒龍江鐵道ヘ一八十二萬九千三百三十三布度、其價格五萬七千四百六留五十一哥

ハ 「スタルツエフ」煉瓦工場（烏蘇里鐵道「ウゴーリナヤ」驛）一三萬九千七百二十四布度、其價度

七

其價格二千七百八十留六十八哥

ニ 硝子製造場(「キバリスウオ」驛)へ一五千十二布度、其價格三百五十留八十四哥

ホ 沿海洲「ポルトランド、セメント」會社(烏蘇里鐵道「エフグエエフカ驛」)へ一三十六萬八千四百

九十三布度、其價格二萬五千七百九十四留五十一哥

ヘ 陸軍建築部(「シユコトウオ」驛)へ一二千五布度、其價格百四十留三十五哥

ト 其他一般公衆へ一十九萬三千七百八十九布度、其價格八萬九百十六留八哥

總計 六百十三萬八千九百九十布度、其價格四十二萬二千五百五十一留四十五哥

二 「オー、ウエー、リンドコリム」商會ノ分

イ 「ハバロフスク」黑龍江鐵道へ一五萬五百五十布度、其價格五千十五留

ロ 工場、製粉場及鍛冶工場へ一二十二萬二千六百五十七布度、其價格八萬七千八百二十二留六

十八哥

ハ 浦鹽斯德ニ於ケル汽船へ一四萬五千三百三十五布度、其價格四千五百十三留五十哥

ニ 一般公衆へ一五十一萬九千九百十四布度、其價格四萬八千八百五留九十八哥

總計 百八十二萬九千八百五十六布度、其價格十四萬六千六百六十七留六哥

三 浦鹽斯德在住商人「エル、シエー、スキデルスキ」ノ分

「ニコリスクウツスリースキー」町(製粉及牛酪製造用トシテ)及「オケアンスカヤ」驛(木細工製造用トシテ)へ一五十二萬四千二百九十布度、其價格四萬四千三百四十三留二十哥

四 陸軍大佐「アー、カー、スイドロフ」ノ分

イ 煉瓦工場(ニコリスクウツスリースキー「驛」)へ一二十二萬四千三百二十二布度、其價格一萬一

千六百三十五留四十四哥

ロ 「ニコリスクウツスリースキー」陸軍部へ一萬六千九百六十五布度、其價格一千三百五十七留

二十哥

ハ 「ニコリスクウツスリースキー」公衆へ一八萬五百十三布度、其價格六千二十六留十哥

總計 三十二萬二千八百布度、其價格一萬九千十八留七十四哥

五 「デー、エス、ボロジエン」ノ分

イ 「ニコリスク、ウツスリースキー」陸軍部へ一六十四萬三千七百七十七布度、其價格七萬四千三

十四留三十五哥

ロ 煉瓦製造所及公衆へ一六十六萬九千八百七十二布度、其價格三萬一千五十七留五十七哥

總計 百三十一萬三千六百四十九布度、其價格十萬五千九百九十一留九十二哥

六 貴族夫人「エム、ペー、オルダゴフスカヤ」ノ分

イ 煉瓦製造工場へ一萬八千六百布度、其價格二千四百留

ロ 浦鹽斯德ニ於ケル一般公衆へ一八萬三千三百九十布度、其價格一萬一千二百二十八留

總計 十萬一千九百九十布度、其價格一萬三千五百二十八留

七 「エス、カー、グルウスキー」遺産相續者ノ分

イ 煉瓦及石灰製造工場(ニコリスクウツスリースキー驛)へ一二十一萬一千布度、其價格一萬五百

五十留

ロ 「ニコリスクウツスリースキー」陸軍部へ一三萬八千布度、其價格二千九百六十七留

ハ 一般公衆へ一四萬六千九百八十五布度、其價格二千九百六十七留八十七哥

總計 二十九萬五千九百八十五布度、其價格一萬五千七百八十五留八十七哥

八 浦鹽斯德在住商人「ユー、イ、ブリユーネル」ノ分

イ 「バラバシ」ニ於ケル煉瓦工場へ一三萬一千布度、其價格千六百六十留

ロ 一般公衆へ一二十四百布度、其價格二百四十留

總計 三萬三千四百布度、其價格一千九百留更ニ之ヲ其種類ニ由リテ分テハ次ノ如シ

販賣先  
イ 鐵道 四、五二九、一六七  
        褐炭 五〇、一五〇  
        石炭

工場、製粉場、  
鍛冶、工場其他  
陸軍部 四三二、八二九 二、八八三、一四一  
        二、〇〇五 六九八、七四二  
販賣先 褐炭 石炭

ニ 一般公衆(主トシテ浦鹽  
斯德住民ノ暖室、厨房用)  
        一、二七七、一七九 六四二、八二二  
        一 四五、一三五  
ホ 汽船 六、二四〇、一八〇 四、三一九、九八〇

總計 六、二四〇、一八〇 四、三一九、九八〇

以上ノ各表ニ由リ東清鐵道カ褐炭ノ最大消費者ニシテ、又私營ノ各企業カ主トシテ石炭ヲ使用シツ  
ツアルヲ容易ニ察知シ得ヘシ。官公衛並會社ニテハ暖室用トシテ石炭褐炭ノ兩者ヲ併用シ居ルモノ多  
シ。商船ニ於ケル石炭需要額ハ徹々タルモノニシテ總計四萬五千三百三十五布度ニ過キス、オー、ウエ  
ー、リンドゴリム「商會」カ供給ヲ爲セリ。斯ク商船ニ於ケル石炭需要額ノ徹々タルハ上述セル如ク烏  
蘇里洲ニ於ケル私營石炭業ノ貧弱ナル結果其品質不良ナルニモ不拘高價ナルメ爲、品質良好ナル日本  
炭及樺太炭ト到底競争スルヲ得サル状態ニアレハナリ。浦鹽斯德稅關ノ調査ニ由ル同港經由輸入石炭  
額次ノ如シ

日本ヨリ 四、〇九八、九一八  
支那ヨリ 六二、一六五

獨逸ヨリ

三、二八九

總計

四、一六四、三七二

同稅關ノ調査ニ由ル

經由ノ輸入石炭額次ノ如シ

日本ヨリ

一七九、八〇〇千度

支那ヨリ

一六、六〇〇

總計

一九六、四〇〇

之ヲ要スルニ烏蘇里洲管區ニ於ケル輸入外國炭總數ハ四百三十六萬七百七十二布度ニシテ、内日本炭四百二十七萬八千七百十八布度ナリ、以上ノ外尙本年度ニ於テ浦鹽斯德經由ノ樺太炭百三十四萬三千九百四十九布度アリタリ

各炭礦ニ於ケル石炭消費量

當管區各炭礦ニ於ケル本年中石炭消費額次ノ如シ

炭 礦 名	布 度	價 格
一ウグロフスキー炭礦	一六七、八二三 <small>千度</small>	八、六〇八・二八 <small>千</small>
二ポドゴロドヌイ炭礦	一四五、三七〇	八、七二二・二〇
三リボウエツツキ炭礦	一二八、一九六	六、四〇九・八〇

四、「スイフンスキー」炭礦	四五、〇〇〇	一、八〇〇・一
五、「ダニロフスキー」炭礦	一〇〇、〇〇〇	四、〇〇〇・一
六、「ノーウイ、ナデージドイ」炭礦	三五、九二四	二、一五五・四四
七、「ナデジンスキー」炭礦	八、〇〇〇	四〇〇・一
八、「マングガイスキー」炭礦	七、二〇〇	三六〇・一
總 計	六四六、五一三	三二、四五五・七二

各炭礦ニ於ケル賣價次ノ如シ

イ 褐 炭

一、「アルツト」所有炭礦

鐵道ニ對シ 一布度 六哥四分ノ三乃至七哥

其他ニ對シ 同 七哥乃至九哥

二、「エム、ベ」オルダゴフスカヤ「有所炭礦

一般ニ對シ 一布度 十哥

ロ 石 炭

一、「オー、ウエー、リンドゴリム」商會所有炭礦

細粉炭	一布度	六哥
粉炭(鍛冶用)	同	十哥
層炭(濕炭)	同	十五哥
層炭(乾燥炭)	同	十哥
塊炭	同	十五哥
粗炭	一布度	七哥半
層炭	同	九哥
層炭	同	八哥
層炭	一布度	五哥一八哥
層炭	同	四哥一十哥
層炭	同	五哥一六哥
層炭	同	五哥半一十哥

採炭作業

一般炭礦ニ於ケル採炭ハ鋤ト鶴嘴トニ由リ行ハレ、火藥ハ炭礦ニ於ケル坑道掘穿其他準備作業ノ際

使用セラル。本年中火藥ヲ使用セルハ「リボウエツツキー、ボツドゴロドヌイ、スイフインスキー、ダニ  
 ロフ」等ノ諸礦トス。褐炭礦中火藥ヲ使用セルハ「エム、ペー、オルダゴフ」所有、ノーワヤナデージ「礦  
 ノミニシテ、右ハ試掘ノ爲メ使用セルモノニシテ其量モ極メテ少量ニ止マリ、僅カニ「メズヤニキタ」  
 十一「フント」十二「ゾロトニツク」ニ過キサリキ。ボツドゴロドヌイ炭礦ニテハ炭礦瓦斯ヲ含有セル微  
 候アリタルヲ以テ安全火藥「ゲゼリツト」ヲ使用セリ。本年中上記ノ各炭礦ニテ使用セル火藥量左ノ如  
 シ

「ダイナマイト」	二布度	六「フント」	二十四「ゾロトニツク」
「メズヤニキタ」	四十一布度	十五「フント」	二十一「ゾロトニツク」
「ゲゼリタ」	十五布度	二「フント」	六十九「ゾロトニツク」
總計	五十八布度	二十四「フント」	十八「ゾロトニツク」
燈心	二千六百七十三「アルシン」		
雷管	四千十二個		

石炭百萬布度ノ採掘ニ付火藥十三布度三十八「フント」、石炭及褐炭百萬布度ニ付、同五布度二十一  
 「フント」ヲ使用セル割合ニシテ、作業ハ凡テ地下作業ナリキ

炭層ノ露出面ハ五分ノ四「サージエン」乃至一「サージエン」五分ノ一ニシテ、褐炭ニアリテハ一「サ



「サージェン」乃至「サーヂエン」半ナリ。本年ニ於テ第一ニ開掘セル炭層ハ「リボウエツツコエ」礦ニ於ケル炭層ニシテ右ノ十度乃至二十度ノ傾斜ヲ有シ、五分ノ四「サーヂエン」乃至「サーヂエン」十分ノ一ノ露出面トス、而シテ右ハ又約百分ノ七「サーヂエン」ノ粉板岩ノ條痕ヲ有シ、其表面ハ砂礫ニテ可ナリニ堅ク掩ハレアリタリ

機械的作業

本年ニ於ケル機械的作業次ノ如シ

- 一、「エル、エル、アルツト」所有「ウダゴフスキヤ」炭礦使用ノ分
  - 汽 罐 十個 (其作用總面積二千八百四十三平方フット)
  - 蒸氣 唧筒 七個 (堅坑ヨリノ排水用) 内譯「ワタルティンクトン」式 三個 小型單氣筒式 二個
  - 揚 鑛 轆 轆 五個
    - 第一堅坑ヨリ揚鑛用 二個 (十八馬力及三十六馬力)
    - 第二堅坑ヨリ同 一個 (十二馬力)
    - 第三堅坑ヨリ同 一個 (十八馬力)
  - 給 水 用 唧 筒 「ワタルティンクトン」式唧筒 四個 六個 (其作用總面積七百九十三平方フット)
- 二、「オー、ウエー、リンドゴリム」商會所有「ボツドゴロドニヤ」礦
  - 汽 罐 三個 (其作用總面積七百九十三平方フット) 排水用蒸氣唧筒 四個

機械工場ニハ運搬用トシテ四馬力ノ推進器一個及轆轆、穿孔器、齒車各一個ヲ有セリ

- 堅坑昇降用昇降器 一個 (二十五馬力) 選鑛器運轉用推進機 一個 (七十五馬力)
- 發電機用蒸氣發動機 一個 (十五馬力) 電燈用發電機 二個 (七十「ボルト」八十「アマール」)
- 三、「エル、デー、スキデリスキヤ」所有「リボウエツツキヤ」礦
  - 汽 罐 六個 (其作用總面積二千二百七十六平方フット) 内「烏蘇里鐵道」リボフツア「驛」ヘ石炭輸送用トシテ二百二十平方フットノ作用力ヲ有スル蒸氣汽罐一個ヲ含ム
  - 排水用唧筒 三個 揚 鑛 轆 轆 一個 (十三馬力)
  - 捲 揚 器 一個 (二馬力) 機 關 車 一個 (七十馬力)
- 四、「アー、カー、スドロフ」所有「スイフンスキヤ」礦
  - 汽 罐 二個 (其作用總面積二百四十平方フット) 排水用唧筒 二個 (各二馬力)
  - 「プリヅメートル」 三個 揚 鑛 轆 轆 二個 (各七馬力)
  - 給 水 用 灌 水 器 二個 直狀給水管 一個
- 五、「デー、エス、ボロジン」所有「ダニロフ」礦
  - 汽 罐 三個 (其作用總面積千七百九十二平方フット) 排 水 用 唧 筒 「カメロン」式 四個 (六馬力二個 三馬力一個)
  - 揚 鑛 轆 轆 一個 (六馬力)
- 六、「エム、ベー、オルダゴフスカヤ」所有「ノーワヤナデージダ」礦
  - 汽 罐 七個 (其作用總面積二千六百三十五平方フット) 内「五個ハ煉瓦工場」部ニテ使用

排水用(第三號)唧筒 一個 揚 鑛 轆 轆 一個 (十八馬力)

七、「エス、カー、グールスキー」所有「ナデジンスカヤ」礦 排水用唧筒 一個 (八馬力)

汽 罐 一箇 (其作用面積百三十一平方フット) 「ドゥブレクス式」 捲揚機 一箇

八、「エー、イ、ブリューネル」所有「マングガイスキヤ」礦 排水用唧筒 一個

汽 罐 一箇 (其作用面積八十平方フット) 「ウォルティングトン」式 揚 鑛 轆 轆 一個 (十二馬力)

其他ノ炭礦ニアリテハ石炭採掘ニ際シテ機械ヲ使用セズ、而シテ本年中烏蘇里管區ニ於ケル金炭鑛ニ於テ使用セル機械數ヲ擧グレバ次ノ如シ

一 汽 罐 二十九箇 (其作用總面積十二萬三千九百五十五平方フット)

二 排水用唧筒 二十九箇

三 昇 降 器 二十三個

四 發 電 機 二 個

又本年中管區各炭礦ニ於ケル主要施設次ノ如シ

一 鑛山技師「エル、エル、アルツト」所有「ウグロフ」炭礦ニテハ第四號坑(深サ二十二「サージエン」)ニ

達スル坑路ヲ完成セリ。又同坑ニ附屬ス可キ木造並生子板造ノ事務室、汽罐室、ヲ建増シ、木製打材機、機械細工室等ノ設備ヲナセルカ之等ノ總費用七千四十六留ニ達セリ、第一號堅坑ヨリ第四號堅坑ニ達スル直通坑道完成セルカ右ハ二萬八千五百七十留ヲ要セリ。第四號堅坑ニハ新ニ六十馬力ノ揚鑛轆轆一個並排水用「カメロン」式唧筒二個ヲ設備シ、第三號堅坑ニテハ木造及生子板造ノ機械室及汽罐室ヲ増築セルガ後者ニ要セル費用ハ二千二百九十九留ナリキ

二「エル、デー、スキデルスキー」所有「リボウエツツキヤ」炭礦ニテハ六十五「サージエン」ノ深サヲ有スル堅坑ニ達スル坑道ニ達スル坑道ヲ完成セリ。本年中新ニ設備セルモノ次ノ如シ

イ 汽 罐 四 個 (其作用總面積千七百六十平方呎 內一個二百十二平方フット)

ロ 排水用唧筒 一個

ハ 揚 鑛 轆 轆 一個 (第二號坑ヨリ第一號坑ヘ十三馬力)

本年中増築セルハ機械室、汽罐室、選鑛室、蒸氣室、鍛冶工場等ニシテ一萬一千五百三十八留ヲ要セリ

「リボフツア」驛へ炭車輸送ノ爲メ三露里百二十五「サージエン」ノ輕便鐵道ヲ敷設シ、同時ニ電話線ヲ架設セリ

三「アー、カー、スイドロフ」所有「スイフン」礦ニテハ安全燈清掃、保管室ヲ増設セリ、其經費四百二

十留

- 四 「デー、エス、ボロジン」所有「ダニロフスカヤ」炭礦ニテハ第二號豎坑(二十「サージエン」)ノ堀下(水平線下四十「サージエン」)ヲ行ヒ、其間二百五十「サージエン」ノ坑道ヲ作レリ  
安全「ランプウオリフ」燈清掃、保管室ヲ設置セルカ其費用一千留ニ達セリ
- 五 「エム、ペー、オルダゴフスカヤ」所有「ノーワヤ、ナデージダ」礦ニテハ二十六「サージエン」ノ深サヲ有スル試掘坑第三號ヲ開鑿シ、假汽鑛室並機械室ヲ設置セリ、試掘坑開鑿費千二百留、假汽鑛室並機械室建築費二百五十留

炭鑛ニ於ケル通風裝置

深サ少ク且作業地域少範圍ナル炭鑛ニアリテハ其地下作業ニ於ケル通風裝置トシテ一般ニ蒸氣裝置ノ通風管ヲ使用シ居レリ

鑛毒瓦斯ヲ有スル「ボツドゴロドニー」礦ニ於テハ余ノ指圖ニ由リ通風機ノ設備ヲ爲セリ。同機ハ八十ノ水壓ニ於テ一分間六百立方「メートル」ノ空氣ヲ吸入ス可キモノニシテ 九一四年ヨリ之ヲ使用スル事トセリ

炭鑛ニ於ケル事故ニ就キテ記セバ次ノ如シ

- 一 「ダニロフスカヤ」炭礦—九月二十日午後六時、労働者交代時ニ當リ、不明ノ原因ニヨリ昇降機ノ

室房ヨリ發火シ、直チニ消火ニ努メシ結果同八時鎮火セリ。被害ハ單ニ該室房ノミニ止マリシモ之カ復舊ニ一晝夜ヲ要セリ

- 二 「ウグロフスキー」炭礦—「ニニンスキー」坑第一號豎坑入口ニ於テ十二月二日午前一時過キ發火セルカ原因不明ナリキ、之カ爲メ第一號豎坑燒失セリ。一九一四年四月下旬、同坑ニテハ再ヒ火ヲ失シ之カ爲メ其附近ニアリシ石炭三十萬布度ハ廢炭トナレリ

一九一四年ニ對スル計畫事業

- 一 「ウグロフスキー」炭礦ニ於テハ「ドミトリエフ」礦ニ於テ更ニ新豎坑ヲ開鑿ス可キ計畫アリ
- 二 「ボツドゴロドニー」炭礦ニ於テハ第六號坑ヲ二百二十二「サージエン」堀下ケ又通風機ノ使用ヲ開始スル筈ナリ
- 三 「リポウエツツキー」炭礦ニテハ其主豎坑ノ堀下(六十五「サージエン」)ヲ行フ豫定ナリ
- 四 「スイフンスキー」炭礦ニテモ其豎坑ノ堀下(二十「サージエン」)ヲ行フ可ク、斯クテ同坑ハ八十九「サージエン」ノ深サニ達スル事トナルヘシ
- 五 「ダニロフスカヤ」炭礦ニテハ第二號豎坑ノ堀下ヲ行フ可シ
- 六 「ノーワヤナデージダ」炭礦ニ於テハ第六號豎坑ヨリノ排水ヲ止メ、之ヲ第三號豎坑ヨリノ排水ト第三層ニ由リ合セシム可キ計畫アリ

七 「ナデジンスカヤ」炭礦ニ於テハ其堅坑ノ掘下ヲ行ヒ又坑ノ西部ニ出入口ヲ設置ス可キ計畫アルモ  
 「エス、カー、グルースキー」ノ死亡ニ因リ或ハ中止セラル、ヤモ知レス

二 金屬 鑛業

本年中國有財産管理局ニ於テ採掘許可證ヲ交付シタル鑛山數次ノ如シ

亞鉛鑛	四	白鉛(銀鉛)鑛	五
鐵鑛	六	銅鑛	五
マンガン鑛	四	銀鉛、亞鉛、銅鑛	三
石墨及モリブデン	四	總計	三十一

本年現在當管區ニ於ケル鑛山數ハ二十二個ニシテ其細別ヲ舉クレハ次ノ如シ

鑛山名	所 有 主	許可年月日	備考
「ブラゴダツトヌイ」鐵鑛	「ユー、イ、プリユーネル」	一九一九年七月二十八日	義務採掘
「ペロゴールスキー」鐵鑛	「エム、ゲー、シエウエレフ」	一九〇四年四月四日	未採掘
「ボリソフスキー」銀鉛鑛	株式會社「テテユーヘ」	一九〇三年三月十三日	採掘
「ウラジミルスキー」鐵鑛	鑛山技師「エル、エル、アルツト」	一九〇一年三月十六日	義務採掘

「エリザウエテインスキー」銅鑛	「ペー、ウエー、オズイミドフ」	一九一三年一月二十七日	試掘
「コンスタンチノフスキー」鐵鑛	「エル、エル、アルツト」	一九〇一年三月二十一日	義務採掘
「エリザウエテインスキー」銀鉛鑛	「エヌ、アー、ウオルコフ」	一九一二年九月十三日	未採掘
「キリルロフスキー」銀鉛鑛	「エル、ユー、ブリーネル」	一九一二年十二月八日	準備作業
「レオニドフスキー」銀鉛鑛	株式會社「テテユーヘ」	一九〇三年三月十三日	採掘
「マグニツトヌイ」鐵鑛	「アー、カー、グロマーズキー」	一九一九年七月二十一日	義務採掘
「マルガリトフスキー」鐵鑛	「エル、エル、アルツト」	一九一九年七月二十四日	同
「マルガリトフスキー」銀鉛鑛	株式會社「テテユーヘ」	一九〇三年三月七日	採掘
「マリンスキー」銀鉛鑛	同	同	同
「ニコラエフスキー」鐵鑛	「エル、エル、アルツト」	一九〇一年三月二十二日	義務採掘
「ナデジンスキー」鐵鑛	同	同	同
「ナタリエフスキー」亞鉛鑛	株式會社「テテユーヘ」	一九一〇年二月十七日	採掘
「ニニンスキー」銀鉛鑛	株式會社「テテユーヘ」	一九一二年六月二十二日	義務的採掘
「ナタロフカ」銅鑛	「ペー、ウエー、オズイミドフ」	一九一三年七月二十七日	未採掘
「オレゴフスキー」銀鉛鑛	株式會社「テテユーヘ」	一九一二年六月二十二日	同

「スカリストイ」鐵鑛 「エル、エル、アルツト」 一九〇一年 義務的探掘  
 三月二十九日  
 「スウエートルイ」銀鉛鑛 株式會社「テテユーヘ」 一九一三年 未掘  
 六月二十八日  
 「フエリクソフスキ」銀鉛鑛 同 一九〇三年 義務的探掘  
 三月十三日

右表ニ示セル如ク、亞鉛及銀鉛鑛十一個、鐵鑛九個、銅鑛二個ニシテ、又目下作業中ノモノ十五個、掘ノモノ五個、試掘及準備中ノモノ二個アリ。更ニ作業中ノモノニ就キテ之ヲ見レハ販賣ヲナシ居ルモノ五個、最少限度ニ於ケル即チ義務的探掘ヲナシ居ルモノ十個ナリ

本年中、銀鉛鑛及亞鉛鑛ノ探掘ニ於テ最モ顯著ナリシハ鑛山株式會社「テテユーヘ」ニシテ、鐵鑛ハ義務的探掘ニ止マリ販賣スルニ至ラザリキ、是レ地方ニ於ケル鐵ノ需要ヲ有セザリシニ由ル。銅ニ就キテハ「ペー、ウエー、オズイミドフ」所有「エリザウエテインスキ」銅鑛ニ於テ單ニ試掘ヲ爲セルニ過キス

最近二ケ年間ニ於ケル當管區内鑛山ノ探鑛量ヲ擧クレハ次ノ如シ

鑛石名	一九一二年	一九一三年
亞鉛鑛	一、七四〇、二二六 <sub>市度</sub>	一、六三二、八八五 <sub>市度</sub>
銀鉛鑛	三一一、七六三	一、八三七、二六五
鐵鑛	一〇一、六〇〇	七三、三九六

銅鑛

七、九八〇

即チ本年ニ於ケル探鑛量ヲ前年(一九一二年)ノ夫ト比較スレハ亞鉛鑛ニ於テハ大差ナキモ、銀鉛鑛ニ於テハ著シク、實ニ百五十二萬五千五百布度ノ増加ヲ見タリ。是レ有力ナル會社ノ出現ニ由ルモノニシテ、一九一四年ニ於テ其年額三百萬布度ニモ達スルニ至ル可シ

亞鉛及銀鉛ノ探掘ハ株式會社「テテユーヘ」ノ獨占ニ屬シ、探鐵ハ「エル、エル、アルツト」氏、「ユー、イ、プリューネル」氏及「アー、カー、グロマースキー」三氏ノ鑛山ニテ行ハル、即チ鑛山技師「エル、エル、アルツト」氏ハ六個ノ鐵鑛ヲ有シ、其探鐵量三萬七千九百六十六布度、「プリューネル」氏ハ一個(ブラゴダットヌイ)ヲ有シ其探鐵量二萬二千六百布度、又「アー、カー、クロマズキー」氏ハ「マグニツトヌイ」鑛一鑛ヲ所有シ、其探鐵量二萬布度ナリ

銅ハ「ペー、ウエー、オズミドフ」所有「エリザウエテインスキ」銅鑛ニ於テ其試掘ニ際シ七千九百八十布度ヲ得タルノミナリ

鑛石ノ販路

本年中鑛山株式會社「テテユーヘ」ニテ海外へ輸出セル鑛石量次ノ如シ

亞鉛	九〇二、五九六 <sub>市度</sub>	八五〇、〇〇〇 <sub>市度</sub>
銀鉛	九、五四八	二〇、〇〇〇
鐵		二五

上記ノ亞鉛鑛中、製煉シタルモノ七十萬八千六百八十布度(約五十八「パーセント」ノ亞鉛ヲ含ム)原鑛十九萬三千九百三十六布度(五十八「パーセント」以上ノ亞鉛ヲ含ム)ナリ  
 銀鉛鑛ノ價格ハ其含銀量(一噸ニ付八百「グラム」乃至二千「グラム」)及含亞鉛量(七十「パーセント」ヲ下ラス)多少ニ由リ高低アルモノトス

鑛山株式會社「テテユー」ノ事業

一、其亞鉛及銀鉛鑛採掘

同會社所有ノ鑛山ニ於テ、本年中採掘、販賣ヲ爲セルハボリソフ、レオニドフ、マルガリトフ、マリンスク及ナタリエフノ五鑛ニシテ、其作業ハ地下並露天業ニ由リ尙爆發物ヲモ使用セリ。又上記ノ各鑛ニ於テ開鑿セル坑道十五個ニ達シ、其消費セル爆發物量次ノ如シ

- ダイナマイト 七六八（電燈） （フット） 一〇 一七
- アンモンカユツタ 一 二〇
- 燈 心 十四萬三千九百二十アルシン
- 雷 管 十萬九千六百三十五個

二、技術的作業

鑛山ヨリ狹軌輕便鐵道ニ達スル約二露里間ニ於ケル鑛石輸送ハ高架索條ニ由リ、該鐵道ヨリテテユー

一へ灣ニ至ル三十五露里間ハ蒸氣列車ニ由レリ。鑛石輸送用トシテ四個ノ機關車(内二個ハ各四十馬力一個ハ五十五馬力)、七十個ノ車輛、プラットフォーム十個所、客車二輛、自轉車二輛ヲ有セリ

「テテユー」灣ノ波止場(長サ七十六サージェン半)ニ於テ積卸ノ爲メ六馬力ノ蒸氣扛重機ヲ有シ、尙百五十馬力發動機船二隻及五十噸積ノ傳馬船十二隻ヲ有セリ

鐵道機械部附屬機械次ノ如シ

輸送用六馬力蒸氣機關	一個	旋	盤	三個
鑛 孔 機	一個	研	磨 臺	一個
鋸 輪 機	一個	通	風 器	一個
「テテユー」灣口ノ鋸木廠ニ於テ木材輸送其他ノ爲ニ左ノ機械ヲ具備セリ				
水平蒸氣機械 <small>(馬力)</small>	一個	鋸	輪 機 梓 組	二個
研 磨 臺	一個	鋸	輪 機	二個

目下使用中ノ蒸氣機關ハ九個(其作用總面積二千三百七十二平方フット)ニシテ、亞鉛塊製煉ノ爲メ三個ノ豎坑爐ヲ有シ、亞鉛鑛細末製煉ノ爲メニハ三個ノ反射爐ヲ具備セリ

本年中「テテユー」株式會社ニテハ其採掘鑛ヲ貯鑛所ニ輸送スルノ目的ヲ以テ地上ニ二露里地下ニ三百サージェンノ通路ヲ作り、尙地上及地下ニ於テ各二個ノ鑛石降落所ヲ建設セリ

銀鉛積載ノ爲メ、各百五十噸ノ積載量ヲ有スル三個ノ車輛ヲ作製セリ

亞鉛鑛細末製煉用トシテ第三反射爐ノ工事ハ完成シ本年十月二十二日ヨリ其使用ヲ開始シタルカ、其費用五千六百八十四留ナリキ。銀鉛製煉ノ爲メニ製煉工場目下建設中ナルモ熟練シタル職工ノ不足ト、不秩序ナル結果、一九一三年中ニ完成ヲ見ルニ至ラサル可シト豫想セラル。一九一四年ニ於テハ工場内部ノ整頓諸機關ノ据付ヲナス可シトノ事ナリ

鑛石輸送ノ爲メ更ニ一輛ノ汽罐車(五十五馬力)ト車輛十輛トヲ増加セリ、汽罐車ハ七千五留車輛(十輛ニテ)四千留ナリキ

通路ノ開鑿セルモノ次ノ如シ

- 一 製煉爐ニ達スルモノ其延長三萬四千八百二十サージエン、其費用一萬一千五百留
- 二 製煉工場ニ達スルモノ、二百三十一サージエン、其費用四萬三千留、此通路ノ斯ク多大ノ費用ヲ要セシハ其地勢ニ由リシモノニシテ、四サージエン半ノ堤防ヲ築キ、長サ二十サージエン、高サ五サージエンノ橋梁ヲ架設シタル等ニ基ク

「テテユーヘ」會社「キリロフスキ」坑ニ於ケル坑道

主要堅坑ハ六月四日ヨリ其開鑿ニ着シ、本年末マデニ二十六サージエンノ掘下ヲ完了セリ、該工事は使用セル火藥量次ノ如シ

ダイナマイト

二四ポンド五八ポンド

燈心

五千二十三アルシン

雷管

三千百十二個

該坑ニ汽罐室、鍛冶室等ヲ設備シ、排水用トシテ直狀蒸氣排水管(其作用四十八平方フット)ヲ備付タリ

亞鉛ノ製煉

三個ノ堅坑爐及三個ノ反射爐ニ於テ亞鉛ヲ燃燒シ、以テ其水分及含有炭酸ヲ除去シツ、アルカ、コノ結果全鑛石ハ約三十「パーセント」ノ量ヲ減少ス

本年中ニ於ケル燃燒鑛石量ハ原鑛石九十九萬八千四百度ニシテ其製煉鑛七十萬八千六百六十布度ヲ得タリ。原鑛ハ四十乃至四十五「パーセント」ノ亞鉛ヲ含ミ製煉鑛ハ其五十八「パーセント」ヲ含ム。鑛石細末ト雖其含量四十五「パーセント」ニ達ス

燃燒ニ要スル費用ハ四萬三千七百八十五留九十六哥ニシテ一布度ニ就キ六哥内外ノ割合ナリ

「テテユーヘ」會社鐵道及船舶部ノ事業

一 鐵道部

本年中ノ鐵道輸送量ハ「イ」ウエールフニ「諸坑ヨリ燃燒爐及製煉場ニ輸送セル百六萬五千五百三十二布度」ウエールフニ「諸坑及燃燒爐ヨリ埠頭ニ輸送セル九十一萬三千九百四十二布度」ハ埠頭

ヨリ鑛山ニ輸送セル雜貨六十布度、總計二百五十七萬九千四百七十四布度ナリ

二船 舶 部

本年中汽船十隻ニテノ鑛石積込輸送量九十一萬二千四百四十四布度、會社宛雜貨積卸量二十八萬一千六百六十五布度、總計百十九萬三千七百九十九布度

鑛石ノ價格

鑛山ニ於ケル原鑛一噸採掘ニ要スル總費用

八留二十五哥

「テテユー」ハ「灣」ヘノ輸送費一噸ニ付

三留八十一哥

汽船積込費

三留九十一哥

「アントワープ」「スワンシ」漢堡行運賃(保險料共)

十一留

總 計

二十九留九十七哥

鑛石製煉ニ對シテハ一噸三留八十三哥ノ費用ヲ要ス

一九一四年作業ニ對スル計畫ニ就テ

明一九一四年ニ於テハ亞鉛二萬噸、銀鉛三萬噸ノ採掘製煉ヲ行フ可キ豫定ニシテ、採掘ハ主トシテ「ボリソフスキ」、ナタリエフスキ、マルガリトフスキ」及「レオニドフスキ」各鑛ニ於テ行ハル可シ。「マリンスキー」、ニニンスキー、オレゴフスキ」諸鑛ニテハ銀鉛採掘ノ爲メ準備工事ヲ施シ、

「スウエートルイ」、センチャブリスキー」二鑛ニテハ其試掘ヲ行フ豫定ナリ。其他全鑛山及鑛石產地ヲ網羅掲載セル詳細ナル地圖ノ編輯發行ニ着手ス可キ計畫アリ

三 採 金 業

本年中、産金地ニ關スル申告ヲ受理セルモノヲ舉クレハ、烏蘇里鑛山管區技師局ニ届出タルモノ六件、「ザオリギン」警察事務官ヘ届出タルモノ四件、採掘許可證ヲ交付セルモノ四件、官有ニ編入セル産金地四十二ヶ所。作業セスト認メラレタルモノ二ヶ所、廢鑛セル金鑛二ヶ所、廢鑛ニ確定セルモノ七ヶ所、官有ニ編入セル金鑛一ヶ所ナリキ

私營鑛山ニアリテハ作業中ノモノ五ヶ所(其總面積四百四十二「デシヤチン」)、作業セサルモノ六十ヶ所(其總面積五千二百三十二「デシヤチン」)ナリ

當管區内ニ於ケル最近二ヶ年中ノ總採金量ヲ舉クレハ次ノ如シ

	一九一二年		一九一三年	
金 塊	一「フント	六三三	四二二	三二六
砂 金	一一二	五七	七七	二四
總 計	三四	二五	一二三	一三〇
				三二一
				四三
				四四
				六八
				七二



本年ニ於ケル採金量ヲ昨一九一二年ノ夫ニ比スレハ二十六「フント」十八「ゾロトニツク」二十一「ド  
 ーリ」ノ増加ヲ見ル。是レ主トシテ「アスコリド」金鑛ニ於ケル採金量ノ増加ニ由ルモノニシテ、カノ  
 期待セラレタル「トウムニン」河貯水場ニ於ケル「露西亞採金業商會」ノ砂金採集ハ同商會支配人ノ病氣  
 次デ死亡セルニ由リ行ハレサリキ。コノ結果一九一三年ノ同商會ノ事業ハ採金ニ於テモ又試掘作業ニ  
 於テモ何レモ其成績ヲ舉クルヲ得サリシナリ。

鳥蘇里管區ニ於ケル採金量ノ少キト、其採金業ノ微々トシテ振ハサルハ主トシテ(一)概シテ砂金含  
 有ノ豐富ナラサルト其採掘方法ノ姑息手段ニ由レル爲メ(二)資金乏シキ結果其開發採集ニ機械的作業  
 ヲ適用シ得サル事(三)顯著ナル金鑛開掘ニ對スル資金乏シキ事等ニ由レリ

本年末ニ於テ「タハヤジ」河道ニ於ケル「ユー、イ、ブリユーネル」所有「ジエラン」金鑛ニ於テハ多數  
 ノ「スコープ」ヲ具備スル土堀器ヲ使用シ機械的方法ニ由リ採掘ニ對スル準備作業ヲ開始セルカ一九一  
 四年同作業ノ完成ヲ待ツテ其採掘ニ着手ス可キ豫定ナル由

「アスコリド」島ニ於ケル金鑛ハ最モ興味アル又最モ豐富ナルモノニシテ、其花崗岩地帯ニ於テ石英  
 百布度ニ付二十「ゾロトニツク」以上ノ金ヲ含ム合金石英ノ多數ノ脈(容積「フート」ニ至ル)ヲ有ス。  
 「アスコリド」鑛ハ從來比較的少範圍ニ於テ其採掘ヲ試ミラレシノミニシテ、其採掘場所ノ如キモ單ニ  
 淺キ部分ニ過キス、今後機械的作業ニ由リ一層深ク之カ掘下ヲ行ハ、必スヤ多量ノ採金アル可シト思

惟セラル

一九一三年中採掘セル合金鑛次ノ如シ

- 石英ヨリ 五萬三百八十九布度
- 石英ヲ含メル廢鑛ヨリ 五萬七千四百布度
- 「エフエル」ヨリ 一萬八千布度

採金量

「アマルカメーシヨン」(水銀ニ由リ)ニ由リテ	三十	フント	三十六
石英ヨリ採金セルモノ	三	ゾロトニツク	三十一
鐵篩ニ由リ廢鑛ヲ洗淨シ採金セルモノ	一		七十四
化學的方法(「シヤン」化法)ニ由リ「エツフエ ル」ヨリ採金セルモノ	一		五十五

作業ハ混合作業(石英採集、「アマルカメー」及「ゾロトニツク」作業(鐵篩ニテ)トニ由リ、石英採掘ニハ鐵楔  
 及鋤ヲ使用セリ。合金石英製煉ニハ「ブレーク」式碎石機及十二馬力ノ石油發動機ニテ運轉スル五個ノ  
 圓棒ヲ有スル藥研ヲ使用セリ。廢鑛ノ洗淨ハ鐵篩ニテ行ヒ、「エフエール」シヤン「化用」トシテハ各六  
 百布度ノ容積ヲ有スル二個ノ水桶ヲ具備スル工場ヲ設置セラレタリ。廢鑛ノ洗淨ハ流水乏シキ結果僅  
 カニ行ハレタルニ過キス

本年中使用セル火薬ノ量次ノ如シ

「メズヤンキータ」  
燈 心  
雷 管

一布度  
百「アルシン」  
二百箇

### 四石 坑

本年中、當管區ニ於テ管區技師ノ承認ヲ得テ爆發物ヲ使用セル石坑ハ四個ケ所ニシテ、内ニケ所ハ石灰採掘ノ爲メ、即チ烏蘇里鐵道「エフゲニエフク」驛ヨリ四露里ニ位スル「プリモールスキー、ポートランドセメント」會社「バラバシ」區ヨリ九露里ノ地ニ存スル「イー、エス、プガイスキー」之ナリ。他ハ「ニコリスクウフスリースキー」町ニ在ルモノニシテ何レモ建築用石材(砂岩)ノ採掘ヲ行ヘルモノナリ。本年中ノ採掘量ヲ擧クレハ

石 灰

- 一 「プリモールスキー、ポートランドセメント」會社「二十五萬四千八百四十立方」サージェン「其價格二萬二千九百三十五留六十哥
- 二 「イー、エス、プガイスキー」百三立方「サージェン」其價格千八百十四留九十四哥

砂 岩

- 一 「イー、デー、エローシエンコ」六百立方「サージェン」其價格七千八百留
  - 二 「パンヒオザ」三百立方「サージェン」其價格三千九百留
- 總 計 (石灰)二十六萬五千四百四十立方「サージェン」其價格二萬四千七百留五十四哥(砂岩)九百立方「サージェン」其價格一萬一千七百留
- 爆發物使用量

- (イ) 「プリモールスキー、ポートランドセメント」會社
  - 「ダイナマイト」百五布度四「フント」燈心八千二百四「アルシン」雷管五千二百六十五個
  - (ロ) 「エス、プガイスキー」
  - 「メズヤンキータ」七布度三十七「フント」七十二「ゾロトニツク」燈心六百四十四「アルシン」雷管五百個
  - (ハ) 「デー、エローシエンコ
  - 焙 硝 一布度八「フント」 燈 心 三百九十六「アルシン」
  - 「パンヒオザ」石坑ニテハ火薬ノ使用ヲ見サリキ
- 耐火粘土ノ採掘

耐火粘土ノ採掘ハ「クラエウーゴリノスバスキ」鑛（「アー、デー、スタルツエフ」所有）ニ於テ行ハレ、採掘量六萬布度、其價格二萬留ニ達セリ

五 勞働者

本年中、烏蘇里管區鑛山ニ於テ作業ニ從事セル勞働者數ハ（義務的採掘ヲナセル各鑛ニ於ケン勞働者ヲ除キ）日傭人七十二萬七千三百九十四名ニ達シタルカ其内譯次ノ如シ

鑛山名	地下作業員		地上作業員		補助員	計
	從事	員	從事	員		
一、炭鑛	一六一、三六三	六四、五一九	六五、八三五	二九一、七一七		
二、銀鉛及亞鉛鑛	九三、五六一	七四、五三〇	一七四、五一三	三四二、六〇四		
三、金鑛	二六、七八八	三七、四三九		六四、二二七		
四、石坑	一九、〇六四			一九、〇六四		
五、粘土坑	九、七八二			九、七八二		
總計	三一〇、五五八	一七六、四八八	二四〇、三四八	七二七、三九四		

之ヲ國籍別ニ示セハ

露 人 一二六、六五七

支那人 五九〇、五七九

朝鮮人 六、六〇六

ターズ土人

三、五五二

更ニ一日平均使用數ヲ百分率ニテ示セハ左ノ如シ

露 西 人 四二四

支 那 人 一九四二

朝 鮮 人 一八

ターズ土人 一二

總 計 二三九六

一日平均使用勞働者數ヲ鑛山別ニ示セハ

石炭及褐炭鑛

鑛 名	員 數
「ウグロフスキヤ」	四二八
「ボツドゴロドニヤ」	一二七
「リボウエツツキヤ」	一一一
「スイフンスキヤ」	三三二
「ダニロフスカヤ」	一二八
「エル、エル、アルツト」所有	
「オー、ウエー、リンドゴリム商會所有」	
「エル、シエー、スキデリスキー」所有	
「アー、カー、ストコフ」所有	
「デー、エス、ボロジーン」所有	

「ノールヤナデージダ」 (エム、ペー、オルダゴフスカヤ) 所有 三八  
 「ナデジンスカヤ」 (エス、カー、グールスキ) 所有 二六  
 「マングガイスキヤ」 (ユー、イ、ブリューネル) 所有 四二

總計九百十五名ニシテ、内地下作業員五百八名、地上作業員二百五名、補助員二百二名ナリ

株式會社「テテユー」へ所有銀鉛及亞鉛鑛ニ於テハ、地下作業員二百七十一名、地上作業員二百十六名、補助員五百二十九名、總計千十六名ナリ

露西亞探金業會社  
 「アスコリド」鑛 (アー、カー、ワリテン) 所有 一三七  
 「ブリヤトスイ」鑛 (アー、カー、フロツク) 所有 一〇四  
 「ジェランスイ」鑛 (ユー、イ、ブリューネル) 所有 一五〇

總計三百九名ニシテ、内混合作業従事者百五十九名、「ゾロトニツチ」作業従事者百四十七名ニシテ、地下作業員七十四名、地上作業員二百三十六名ナリ

石 坑

「プリモールスキ」、ポルトランドセメント」會社 四五  
 「イー、デー、エローシエンコ」 二四  
 「バンヒオズ」 一六  
 「ブガイスキ」 四  
 計 八九

粘 土 坑 七〇

「クラエウーゴリノスバスキ」鑛(アー、デー、スタ、ルツエフ所有) 七〇  
 以上總計二千三百九十六名ノ外義務的探掘ヲ行ヘル諸鑛ニ於テ使用セル労働者一日平均數  
 炭 礦 三十五名  
 鐵 鑛 四十五名  
 銅 鑛 二十三名(内未成年者二名ヲ含ム)

計百三名ニシテ全部露西亞人ナリ  
 當管區内各鑛ニ於テ作業ニ従事セル労働者數ハ一日平均二千四百九十九名ニシテ内露人五百二十七名、即チ其二十一「パーセント」ヲ占ム

各炭礦勞銀表

(ルイ留、カーゴチ示ス)

炭礦名	地下作業		地上作業		補助作業		累計
	現金	給與品代	現金	給與品代	現金	給與品代	
ウグロフスキヤ礦	111,957	2,395	19,900	4,500	37,950	11,000	183,602
ボドゴロドニヤ礦	311,050	5,980	2,433,100	10,500	5,266,400	49,900	8,156,830
リボウエツツキヤ礦	26,500	3,350	8,640,000	3,350	2,370,000	11,500	11,981,200
スイフンスキヤ礦	3,048,000	3,048,000	2,548,500	3,550,700	3,550,700	3,550,700	14,848,500
ダニロフスカヤ礦	3,565,500	3,565,500	11,940,300	11,940,300	11,940,300	11,940,300	48,766,100
ノイワヤナシヤ礦	2,900,000	3,900,000	1,300,000	1,300,000	3,000,000	3,000,000	11,100,000
エスカトルスキヤ礦	2,000,000	3,000,000	7,950,000	3,500,000	1,100,000	4,600,000	14,870,000
ナデジンスカヤ礦	2,000,000	3,000,000	7,950,000	3,500,000	1,100,000	4,600,000	14,870,000
マンガイスキヤ礦	2,000,000	3,000,000	7,950,000	3,500,000	1,100,000	4,600,000	14,870,000
地下作業者ニ對シ			195,554	15			211,113
地上作業者ニ對シ			62,614	19			85,261
補助員ニ對シ			85,261	57			142,518
總計			343,429	91			434,920

斯ク全一ケ年間ニ於ケル炭礦作業勞働者數ハ地下作業者十六萬一千三百六十三名、地上作業者六萬四千五百十九名、補助員(事務員其他)六萬五千八百三十五名ニシテ是等ニ對シ支拂ヘル勞銀左ノ如シ

地下作業者ニ對シ 一九五、五五四・一五  
 地上作業者ニ對シ 六二、六一四・一九  
 補助員ニ對シ 八五、二六一・五七  
 總計 三四三、四二九・九一

即チ地下作業者一日一留二十一哥、地上作業者一日九十七哥、補助員一日一留二十九哥、ニシテ炭

礦勞働者ノ一日平均勞銀ハ一留十八哥ニ相當ス

炭礦作業勞働者ニ給スル給與品費ハ總計三萬九百六留十哥ニシテ全勞銀ノ約九「パーセント」ニ當ル炭礦ニ於ケル一日ノ採炭量ハ地下作業者一人六十六布度其他ハ約三十六布度ナリ。一布度ノ採炭ニ對スル勞銀ハ平均三哥乃至二哥ニシテ又勞働ノ種類及勞働者人種ニ由リ多少差違アリ

一、仕事別勞銀表(賄費自辨)

種類	日		月	
	露	人	露	人
イ 地下作業				
碎 鑛 夫		九〇		
土 運 搬 夫		七五		
穿 孔 夫		八〇		
採 金 夫	一二五	八〇	三〇	
石 工 夫		八〇	三五	
雜 仕 夫		八〇		
總計				二五

「テテユー」金鑛株式會社、本年中、同社ニテ使用勞働者ニ支拂ヘル勞銀次ノ如シ

種類	日		給		月		給	
	露	人	支	那人	露	人	支	那人
碎鑛			五五	一六			一八	
土浚			四〇	一一			二〇	
土運搬			三〇	八一			一二	
採金			四五	一一			一五	
地上作業			四五	一一			一六	
積卸			三〇	八一			一二	
馬搬			三五	一〇			一五	
雜化			三〇	八一			一二	
大工			七〇	二〇			二八	
鑛夫			三〇	八一			一二	

二、仕事別勞銀表(賄付)

種類	日		給		月		給	
	露	人	支	那人	露	人	支	那人
火雜			九〇	二五			二五	
大工			七五	二〇			二〇	
鐵鑛			一〇〇	三〇			三〇	
鍛冶			一〇〇	三〇			三〇	
鑛匠(錠前師)			一二〇	四五			四五	
轆轤			一七〇	七〇			七〇	
補助作業			一七〇	七〇			七〇	
揚鑛			一〇〇	四〇			四〇	
手挽			七五	二五			二五	
選鑛			七〇	三五			三五	
馬夫			七五	二五			二五	
土運搬			八〇	二五			二五	
地上作業			八〇	二五			二五	

地下作業者 (現金ニテ) 一五五、一五六、六五  
 地上作業者 (同) 一〇三、一八四、二七  
 補助作業者 (同) 二〇、六九四、七四  
 小計 二七九、〇三五、六六  
 鐵道作業者 (同) 五一、二九九、八六  
 船舶作業者 (同) 三九、九〇二、三七  
 山林製材作業者 (同) 四二、五四八、七七  
 製煉場建築作業者 (同) 一二七、八八三、五五  
 總計 五四〇、六七〇、二〇  
 本年中使用セル勞働者ハ地下作業者九萬三千五百六十一名、地上作業者七萬四千五百十名、補助員二萬七百十八名ナリ  
 使用勞働者ニ對スル勞銀割合左ノ如シ  
 地下作業者 一日 一六六  
 地上作業者 同 一三八  
 補助員 同 一三八

即チ鐵道作業ニ從事セル勞働者ハ四萬二千八百四十五名ニシテ其勞銀一人平均一日一留二十哥、又山林製材作業ニ從事セルモノ二萬三千二百十人其平均勞銀額一日一留八十三哥ナリ  
 製煉場建築作業ニ使用セル勞働者ハ六萬三千七百二十四名ニシテ、總額十二萬七千八百八十三留五十四哥ノ支拂ヲナセリ。即チ一日二留一哥ノ割合ニ當ル。斯ク勞銀ノ高率ナリシハ當管區内ニ於ケル大工業者勞銀ノ一般高價ナルニ基クモノトス  
 一般平均ノ一日ノ勞銀ハ一留五十八哥ニシテ、一日ノ採掘量地下作業者三十七布度、地上作業者十七布度ナリ

作業種類別ニ由ル勞銀調表次ノ如シ  
 作業別勞銀調査

作業名	仕上料		日給		月給	
	露人	支那人	露人	支那人	露人	支那人
碎鑛夫	七留以上	七留以上				
石灰石	六留以上	六留以上				
碎鑛夫	七留以上	七留以上				
石灰石	六留以上	六留以上				
總計						四五





「ウグロフスキー」炭礦ニテハ獨身労働者(支那人)ノ爲メニ八個ノバラック(總面積五百六立方方サージェン半)ト三百三十立方「サージェン」ノ面積ヲ有スル廣地ヲ設ケ居レリ。露人労働者ハ凡テ「ウグロフスキー」村ニ於テ炭坑ニ隣接セル借家若シクハ自宅ニ住居シ、宅地料、石油、薪代等ノ供給ヲ炭礦ヨリ受ケ居レリ

「ポッドゴロツドニー」炭礦ニテハ家族ヲ有スル労働者ノ爲メニ二室ヲ有スル家屋(面積二十八立方方サージェン)及五立方「サージェン」半ノ廣地ヲ、又獨身者ノ爲メニハ五個ノ「バラック」(總面積四百九立方方サージェン)及二百八立方「サージェン」ノ面積ヲ有スル廣地ヲ提供シ居レリ

「リボウエツツキヤ」炭礦ニテ家族ヲ有スルモノ、爲メニ十立方「サージェン」ノ獨立家屋(九立方「サージェン」ノ廣地ヲ有ス)ヲ與ヘ、獨身者ノ爲メニ二個ノバラック(面積百四十五立方方サージェンニシテ)ヲ設備シ居レリ。本年中ニ新ニ建築セルモノ左ノ如シ

- 一 家族ヲ有スル者ノ爲メニ五室ヲ有スル獨立家屋一戸、獨身者ノ爲メニ屋內總面積四十二立方「サージェン」及二十九立方「サージェン」ノ廣地ヲ有スル家屋一戸ヲ新築セリ。其費用四千八百八十六留六十七哥ヲ要セリ

二 浴 場 一戸 建築費千八百七十九留十七哥

三 冷蔵庫(氷室) 一戸 建築費四百五留二十二哥

「スイフンスキヤ」炭礦ニテハ家族ヲ有スルモノ、爲メニ三室ヲ有スル獨立家屋(面積二十四立方方サージェン)ニシテ十七立方「サージェン」ノ面積ヲ有ス

「シエン」ノ獨身者ノ爲メニ「バラック」(面積五十六立方方サージェン)ニシテ三二個ヲ有セリ

「ダニロフスカヤ」炭礦ニテハ家族ヲ有スル者ノ爲メニ五室ヲ有スル獨立家屋(面積三十六立方方サージェン)ニシテ二十五立方「サージェン」ノ廣地ヲ設ケアルカ右ハ二家族ヲ收容ス可キ事トナリ居レリ。獨身者ノ爲メニハ屋內面積百二十九立方「サージェン」及九十三立方「サージェン」ノ廣地ヲ有スル「バラック」三個ヲ有セリ

「ノーワヤナデージダ」炭礦ニテハ家族ヲ有スル者ノ爲メニ、六室ヲ有スル獨立家屋(面積八十三立方方サージェン)ニシテ四十立方「サージェン」ノ廣地ヲ有ス

「ナデジンスカヤ」炭礦ニテハ十三名ノ労働者ヲ收容ス可キ「バラック」(面積十九立方方サージェン)ニシテ十個ヲ有ス

「マングガイスキー」炭礦ニ於テハ家族ヲ有スル労働者ノ爲メ四立方「サージェン」ノ家作ト同面積ノ廣地ヲ有スル家屋ヲ設備シ、獨身者ノ爲メニハ三個ノ「バラック」ヲ有セリ、其總面積二十立方「サージェン」ニシテ二十一立方「サージェン」ノ廣地アリ

此等ノ炭礦附屬住宅及「バラック」ハ何レモ木造ニシテ床、二重窓、廊下ヲ有シ、厨房ハ居室ヨリ分離セラレ、浴場、洗濯場、乾燥場等ノ設備アリ

「チエテユー」會社所有礦ニテハ家族ヲ有スルモノ、爲メニ二十一個ノ獨立家屋(總面積五百五十三立方方サージェン)ニシテ三百八十九立方「サージェン」ノ廣地ヲ有シ七十三家族ヲ收容シ居レリ、獨身者ノ爲メニ「バラック」ハ四十三個ニシテ其

總面積千八百八十四立方「サージエン」其廣場千二百三十二立方「サージエン」ナリ

居室ニ附屬シテ、厨房並乾燥室ノ特別ノ設備アリ、燃料及用水ハ炭礦ヨリ給與セラル、モノトス

「アスコリト」金鑛ニ於テハ有家族者ノ爲メ三室ヲ有スル獨立家屋二戸（面積九十立方「サージエン」ニシテ五）

ヲ有シ、獨身者ノ爲メ五個ノ「バラツク」（面積二百五十立方「サージエン」ニシテ）「百四十四立方「サージエン」ノ廣場ヲ有ス」ヲ設備セリ、尙一九一四年

ニ於テハ「バラツク」一個増築ノ豫定ナリ

「アー、カー、クロック」所有「ブリヤットヌイ」鑛ニテハ七個ノ假「バラツク」（總面積四十二立方「サージエン」ニシテ四十四立方「サージエン」ノ）

有ス）ヲ有ス、同鑛ハ本年十一月ヨリ其作業ヲ開始セルモノナリ

「ニコリスクウツスリースキー」町ニ近接セル「スイフンスキヤ、ダニロフスカヤ、ナデジンスカヤ」等

ノ各鑛ヲ除キ、其他ノ殆ド凡テノ鑛山ニ於テハ賣店ノ設備ヲ有シ、市場相場ニ適應シテ定メラレタル

價格ヲ以テ食料並日用品ノ供給ヲナシ居レリ

醫療設備

本年中、當管區内各鑛山ニ於ケル醫療設備及其狀態次表ノ如シ

鑛山名	病院	療養所	醫員	看護人	産科醫
炭鑛					

鑛山名	病院	療養所	醫員	看護人	産科醫
一、ウグロフスキヤ	一	六	一	一	一
二、ボドゴロドニヤ					
三、リボウエツキヤ					
四、スイフンスキヤ					
五、ダニロフスカヤ					
六、イワヤナデーシタ					
七、ナデジンスカヤ					
八、マングガイスキヤ					
金屬鑛					
九、 <small>テテエーハ會社所有</small> 銀鑛	一	三〇	三	六	一
一〇、 <small>プリモールスキヤ、 社所有石坑</small> 鉛鑛					
一一、アスコリト鑛					
一二、 <small>クラエウーゴリノス スキヤ</small> 所有粘土坑					
總計	二	三六	一〇	一九	一

本年中ノ醫療費用並病院、療養所收容人數ニ關スル調次ノ如シ

鑛山名	入院者		來診者		經費
	人數	延人員	人數	延人員	
一、ウグロフスキヤ	三三	二六五	四九	一一四	三、三五〇〇
二、ボドゴロドニヤ	三	五	二五	九三	一七、六一二
三、リボウエツキヤ	一	四	二	二	五、九五九
四、スイフンスキヤ	二	七	三	六	四、四二〇
五、ダニロフスカヤ	一	一	六	一〇七	一、四〇〇〇
六、ノワヤナデージダ	一	一	四	九	二、九七五九
七、ナデジンスカヤ	一	一	一	一	三、四七〇
八、マングガイスキヤ	一	一	一	一	一〇〇〇
九、テテユーヘ會社所鑛	三〇三	三〇七	四九	二、二九三	八、一三三九〇
一〇、プリモルスキホルト	三〇三	三〇七	四九	二、二九三	二、一六五二六
一一、ランド、ツエメント會社	三〇三	三〇七	四九	二、二九三	二、五〇〇〇
一二、アスコリド鑛	三〇三	三〇七	四九	二、二九三	三、三二八
總計	三三三	三〇七	五七	八九七	三、四八〇〇四

採炭量千六十二萬六千二百五十五布度ニ就キ其醫療費ヲ計上スレハ一布度ニ付百分ノ八哥ヲ示シ、又銀鉛鑛ニアリテハ一布度ニ付百分ノ七十三哥ヲ示セリ。斯ク炭鑛ニ於ケル醫療費ノ尠キハ労働者ノ大部分、殊ニ支那人(九十二パーセント)ヲ占ム)ガ露國人醫師ニ其治療ヲ求ムル事罕ナルト、家族ヲ有スル労働者ノ殆ド無キ事、並炭鑛事務員數ノ少キ事等ニ由ルモノニシテ、又「テテユーヘ」鑛ニ於ケル其

費用ノ多キハ其使用労働者ノ大部分ガ露人ナルト、家族ヲ有スル者ノ多キト、同鑛病院ガ附近ノ移民ニ對シテモ其醫療ヲ行フニ基ケルモノナリ  
 本年中鑛山作業労働者中傷害ヲ被レルモノ總計八十七名、其内譯、炭鑛十四、金屬鑛七十二、金屬一ニシテ石坑及粘土坑ニハ之ヲ見ザリキ  
 本年中遭難者ニ對シ給與セル費用次ノ如シ

療治代一時金	炭 鑛	金屬 鑛	「テテユーヘ」鑛山會社
炭 鑛	四百十六留七十哥		
金屬 鑛		四百四十八留一	
年 金			八百六十四留七十哥
炭 鑛			二百九留二十五哥
金屬 鑛			二千五百十六留九十六哥
計			二千七百二十六留二十一哥

教育機關

鑛山労働者及従事員子弟教養ノ目的ヲ以テ設立セラレタル學校ハ「テテユーヘ」鑛山會社所有鑛ニ於

テ只一校ヲ有スルノミニシテ同校ハ文部省令ニ因ル一級制ノ學校ナリ。一九一三年ニ於ケル生徒數四十名ニシシ其内譯次ノ如シ

勞働者及従事員ノ子弟

其他ノ子弟

少年	二二	二
少女	一五	一

授業料ハ徴收セス、教科書ハ之ヲ無料ニテ給與ス、教師ハ教員一名宣教師一名ヲ以テ之ニ充ツ。學校ノ總經費ヲ舉クレハ左ノ如シ。

- 一、教員俸給費 一千三百八十留
- 二、教科書其他參考品費 一千二十留
- 三、冬季(四ヶ月間)ニ於ケル學校ノ兒童輸送費 四百留 (一ヶ月百留トス)
- 四、薪炭、電燈料、番人手當其ノ他 一千留

總計 三千八百留

「ウグロフスキヤ」炭礦ニテハ「ウグロフ」村(礦山ヨリ半露里)ニ存スル文部省令ニ由ル二級制ノ學校ヘ、其勞働者及従事員ノ子弟ヲ就學セシメ居レリ。本年中就學セルモノ少年六名、少女七名、計十三名ナリ。「ウグロフ」學校ニテハ一ヶ年十留ノ授業料ヲ徴收ス、本年中納付セルモノ授業料百三十留、

學用品代三十一留九十四哥ナリキ

本年中同盟罷業ハ一回モアラサリキ

技 術 員

本年中鑛山業ニ従事セル技術員左ノ如シ

- 一、「ウグロフスキヤ」炭礦
  - 管理者、鑛山技師、エル、エル、アルツト (「エカテリ」十二世)、鑛夫長二名 (一名ハ「イルクツク」鑛山學校、業生ニシテ内一名) 機關技手一名 (工學) 本工技手六名、俸給總額一萬千二百八十四留
  - 鑛山支配人ヲ兼メ
  - 二、「ボドゴロドニヤ」炭礦
    - 鑛夫長二名 (何レモ「ドムア」鑛山學校卒業) 機械技手一名 (備選工手) 木工技手一名俸給總額八千九百五十五留三十八哥

- 三、「リボウエツツキヤ」炭礦
  - 管理者、鑛山技師イー、エス、コレーニエフ (トムスグ工藝) 機械技手一名 (山學校卒業) 木工技手二名
- 四、「スイフンスキヤ」炭礦
  - 管理者、鑛夫長一名 (バルナウリスク) 木工技手一名、俸給總額三千八百八十留
- 五、「ダニロフスカヤ」炭礦

管理者鑛夫長一名(イェルクツク鑛山學校卒業)、木工技手三名(小學校卒業)、俸給總額四千八十留

六、「ノーワヤナデーシダ」炭礦

支配人一名、木工技手一名、俸給總額千三百二十留

七、「ナデジンスカヤ」炭礦

支配人、鑛夫長一名(鑛山學校卒業生ニシテスイフス)、木工技手二名(小學校卒業)、俸給總額千九百四十留

八、「マンガガイスキヤ」炭礦

支配人一名、二ヶ月ノ勤務ニ對スル報酬八百留

九、「テテユーヘ」鑛山會社

管理者、鑛山技師獨人「クリ」(一九一三年十一月總務ニ任セフレ支配人トシテ一九一四年三月「ウエー、ハ、ウオデニコ」ヲ就任セリ)、「ワオデニコフ」ハ舊「バルナウリスク」鑛山學校卒業生ニシテ鑛夫長トシテ最モ有名ナリ、化學技師一名(獨逸人)、鑛夫長三名(内二名ハ「バルナウリスク」鑛山學校卒業生ナリ)、技術士二名、木工技手十六名(阿レモ小學校卒業)、俸給總額三萬五千四百八十七留

「エリザウエテインスキ」銅鑛管理者「ベ、ウエー、オズイミドフ」(フレイベルグ鑛山專門學校卒業)、鑛夫長一名(イェルクツク山學校)、俸給總額一ヶ月七百留

其他同會社所有試掘鑛ニアルモノ鑛山技師二名即チ「ベ、アー、クラウゼ」(エカテリ十二世鑛山專門學校卒業)、及「エス、カー、ベトロフ」(同)、其他鑛夫長二名(一名ハ「イェルクツク」鑛山學校卒業、他ハ「ゴルロフスク」鑛山學校卒業)、技術員四名(特殊ノ學歷ナキモ熟練經驗ニ富メルモノ)以上

### 沿海洲鑛山管區ニ於ケル鑛山業

一九一三年沿海洲鑛山管區技師ノ報告ニ據ル

本年中、沿海洲國有財産管理局ニ於テ鑛山採掘許可證ヲ交付シタルモノ、金鑛ヲ除キ炭礦四ヶ所ナリ、又採掘ヲ許ス可キ告示ヲ爲セルモノ耐火粘土鑛一箇所アリ。金鑛ニ關スル異動次ノ如シ

	一九一二年	一九一三年
含金地ニ付管區技師局ニ届出タルモノ	一四七	三二二
官有地ニ編入セラレタルモノ含金地	二五〇	二二
未採掘	七	四
採掘許可證ヲ交付セルモノ	六九	一九
廢鑛	二一	一一
廢鑛ニ確定セルモノ	一九	一五
官有ニ編入セラレタル金鑛	二六	七
下戻シセラレタルモノ	五	四
		五七

爆發作業ハ行ハレス。一九一三年ニ於テ在浦鹽斯德「アホート」會社カ一九一二年九月九日付管區技師證明書第一四一六號ニ由リ「セータスプロツク」會社ヨリ「メズヤンキタ」十布度、「ニトロキタ」一布度雷管二千個、火繩五十把ヲ金鑛爆發工事に用ヒテ購入シタルモノ本年ハ之カ使用ヲ見ルニ至ラサリキ

當管區ニ於テ有スル汽鑛數ハ總計六十二個ナルモ實際使用セルハ二十五個ニシテ其作用總面積一萬八百六十六平方「フート」ニ達シタリ

汽鑛使用稅ハ八百十四留ニ達シタルカ、一九一三年中新ニ購入セル汽鑛ハアラサリキ

刑事問題トシテハ本年中一件アリシノミニシテ、右ハ他人ノ地所ニ於テ無斷採金ヲ爲セル爲メ鑛山警察ノ調査ニ由リ告發セラレタルモノナリ

保安ニアリテハ鑛山規則第一二六二條及第一二六三條ノ違犯者二名ヲ出セリ。本年中徵收シタル罰金額ハ四千五百三十六留ナリキ。本年中ノ採金量(砂金ノミ)次ノ如シ

採金方法	一九一二年	一九一三年
浚砂機ニテ	三六	三九
	九	三五
	六	五九
	二九	七八

水壓方法ニテ

ナシ

ナシ

其他ノ方法ニテ  
計 九六 三三 五三四 一二四 一五 五九 二〇

作業名	採金量		百布度ニ付テノ含金量	金鑛數		
	一九一二年	一九一三年		一九一二年	一九一三年	
混合作業	一九一二年	一九一三年	一九一二年	一九一三年	一九一二年	一九一三年
イ 機械作業	三六〇九〇六二九	三九五五九七	一九六	一八七	五	五
ロ 馬力及筋力作業	三四・〇・一一五	三五〇三七四三六	七〇三	八一四	九	四
計	七〇・九・一七六四	七四三九三八三	三〇二	二九三	三七	九
ゾロトニツク作業	二六・三・八三六六	四九一六二〇七	一一二	一八	三	三
總計	九六・三・三三四	一二四・一・五九二〇	三七二	四〇九	二七	四
未掘						

ブ、布度 フ、「フント」ゾ、「ゾロトニツク」ド、「ドローリ」

一九一三年中黒龍江沿岸百露里内ノ領内ニ於テ採金業許可證ヲ與ヘタルモノ六十六件ニシテ、一九一三年ニハ百六十四件ナリキ  
一九一三年中ニ於ケル作業及未掘金鑛、採金量其他ニ關スル調査次表ノ如シ

面積(デシヤチーン)	採取	未掘	一九二三年ニ於ケル探金量	會社名	鑛山數	探掘未掘
一六七九	七六九〇	一〇八	一〇・八	アマダグンスク	一四	一七〇
一六〇	一三一	二〇八	一三・九	アマムールスク	二	一〇
四五八	二〇八	二〇八	一〇・〇	エリツオフ、イ、レワシエフ	二	一〇
一三〇	二〇八	二〇八	一〇・〇	ザビロフ、イブシエニチ	二	一〇
二二三	二〇八	二〇八	一〇・〇	ザビロフ	二	一〇
四二〇	一四四九	二〇八	二〇・三	アツケルマン	三	一〇
三四五	二〇二二	二〇八	一三・七	シャフチエンコ	三	一〇
三八八	九八六	二〇八	一〇・二	アホトスク	二	一〇
六〇八	三三八	二〇八	一〇・二	ボリヤチエツク	二	一〇
一〇六	三九六	二〇八	一〇・二	アマールスキールヨールスク	二	一〇
一三五	一八〇	二〇八	一〇・二	モドリ	二	一〇
二二四	四七	二〇八	一〇・二	ゲンリフセン	二	一〇
九二	四七	二〇八	一〇・二	マルケウイツチ	二	一〇
七九	四七	二〇八	一〇・二	ベロプーホフ	二	一〇
七	四七	二〇八	一〇・二	テイブレンスコエ	二	一〇
三	四七	二〇八	一〇・二	アンガチツク	二	一〇
二	四七	二〇八	一〇・二	ミロノフ	二	一〇
一	四七	二〇八	一〇・二	第一ウドリスク	二	一〇
一	四七	二〇八	一〇・二	アマールスク	二	一〇
一	四七	二〇八	一〇・二	マルテミヤノフ、ザイツエスイ、ネブイタエフ	二	一〇
一	四七	二〇八	一〇・二	ニカンドスカヤ	二	一〇
一	四七	二〇八	一〇・二	ブリケリナイ	二	一〇

六〇

六二六六一五六三九二二四二五五九二〇

四八一五五

面積(デシカチーン)	未探掘金鑛所有者名	金鑛數
一〇四	ボプロフ、エス、エス	---
九七	極東會社	---
六五	ダリゴリエフ、ウエー、エム	---
四四	ドエニン、エー、ウエー	---
一六七	カルカキン	---
一七八	カンテインスキ、ウエー、ア	---
七四	カシヤノフ、ア、ウエー	---
六八	ルウーキン、ウエー、ウエー	---
二二	マルテミヤノフ、イ、シ	---
六四七	モルデユン、ペ、ウエー	---
三四	ミフネウイツチ、エス、ア	---
七五九	ノーウオウドイスク	---
九三	ボツテ、ウ、エフ	---
一〇四	プザノフ、エム、エム	---
四三	ボリトフ、エス、エス	---
九六	セレブレニニコフ	---
一六三	チウリン商會	---
一〇五	エツセングスク	---
五二	コラチエフスキ、ウエー、エム	---

六一

二七

「ニコラエフスク」合金製煉所ニ於テハ一九一三年中、自然金六十六布度三十「フント」八十二「ゾロトニツク」十六「ドリー」製煉金二「フント」三十七「ゾロトニツク」合金鑛九十一布度十九「フント」四十七「ゾロトニツク」三十「ドリー」製煉ヲ行ヒタリ。「ブラゴマシチエンスク」ニ發送セル砂金量ハ黒龍江探金業會社二十布度十一「フント」三十六「ゾロトニツク」十「ドリー」「マルテミヤノフ、ザエツエフ及「ネプイタエフ」會社一布度三十九「フント」五十二「ゾロトニツク」二「ドリー」ナリ。斯ノ如ク上記ノ表ニ示セル如ク一九一三年中製煉セル砂金ハ百八十布度二十一「フント」二十五「ゾロトニツク」五十七「ドリー」ニシテ、一九一二年ニ於テハ百五十一布度二「フント」五十二「ゾロトニツク」三十三「ドリー」ナリキ。

鑛山警察ハ九箇所ノ看守駐在所及三十八名ノ看守ヲ以テ組織セラレ。

鑛山局ノ報告ニ由レハ鑛山ヨリ全收入額ハ二萬八千五百八十二留二十五哥（一九一二年ニ於テハ三萬五千九百九十二留五十四哥）ニシテ其内譯次ノ如シ

費目	一九一二年	一九一三年
地租	一九一二年 二五、三〇九 <sup>哥</sup> ・二八	一九一三年 二四、〇一六 <sup>哥</sup> ・五三
境界税	五五・二六	二七・七二
金鑛探掘權取得ニ對スル料金	八、五四〇・〇〇	三、八三〇・〇〇

鑛山規則違犯ニ對スル罰金

勞働者傷病救濟組合費

計

技術者數ハ前年ニ比シ減少セリ、一九一二年ニ勤務セル露國人技師「チエプラノフ」「トムスク」「工藝專門學校出身」、「コラチエフスキー」(彼得具羅土工藝專門學校出身)、「シリコフ」,(「フレイベルグ」工業學校出身)等一九一二年(譯者註一九一三年ノ誤記ナランカ)ニ於テモ勤務セルカ、尙鑛夫長三名、外人(米人)、技師二名及技術員二名アリタリ	一、一三三・〇〇	六六三・〇〇
勞働者數ハ平均一日三千三百六名ニシテ前年(一九一二年)ノ二千五百八十四名ニ比シ増加セリ。増加セルハ主トシテ支那人勞働者ニシテ、右ハ一部同州カ旅券検査寛大ナル爲メ又一部露國人勞働者ノ壓迫ニ由リ黑鶴江洲ヨリ移住シ來レルモノナリ。當管區内ニ於ケル露國人及朝鮮人勞働者數ハ前年ト大差ナク即チ露人勞働者ハ約五百人、朝鮮人一千人、支那人約一千八百人ナリ	一五五・一	四五・一
傷害事故ハ一九一二年ヨリ十三年迄ヲ通シテ總計八件ニシテ内四名死亡シ四名ハ回復セリ	三五、一九二・五四	二八、五八二・二五

鑛山警察ノ調査ニ由レハ本年、中鑛山在住者六千五百五十七名(一九一二年一五千四十六名)ニシテ、其國籍別ヲ示セハ露人一七二名、露國歸化外人六名、露國歸化朝鮮人及朝鮮人一九九〇名、支那人三千二百七十二名、其他外人一七名ナリ



本年中出生セルモノ五二名、死亡セルモノ一四名アリタリ

鑛山ニ於ケル家畜數ハ馬匹二二八頭、牛八〇頭、羊二頭、豚一三一頭、山羊三頭、鹿一〇頭ニシテ、一九一二年ニ於テハ馬匹三二二頭、牛四三頭、羊七頭、山羊五頭、豚九二頭、鹿二頭ナリキ

火災ニ就キテハ「ウドイリスク」會社所有第一鑛、「アムグンスコエ」會社所有鑛及「アホートスク」會社ノ火災ヲ舉ク可シ。「ウドイリスク」會社所有鑛ニ於テハ洗淨機、事務員、勞働者宿舍、糧食、馬秣其  
他ヲ燒失シ、「アムグンスク」會社ニテハ其附屬病院一棟、「アホートスク」會社ニテハ其事務室ヲ燒失  
セリ

鑛山ニ於ケル醫員ハ看護人二十四名、囑託醫(常置)一名及囑託醫(他ヨリ出張シ來ルモノ)二名シテ療養所十三ヶ所、病院五個所アリ

本年中ニ於ケル採金量ハ一九一二年ノ夫ニ比シ二十七「ブート」二十二「フント」五十三「ゾロトニツク」八十二「ドローリ」ノ増加ヲ見タリ、増加ノ原因ハ黑龍江會社ノ二十布度十一「フント」三十六「ゾロトニツク」十「ドローリ」(一九一二年ニ於テハ十二布度六「フント」五十一「ゾロニツク」六「ドローリ」)「アホートスク」會社ノ三十四布度五「フント」五十「ゾロトニツク」四十五「ドローリ」(一九一二年ニ於テハ二十四布度八「フント」二十七「ゾロトニツク」四十八「ドローリ」)「ゲンリフセン」會社ノ二十二布度七「フント」四十九「ゾロトニツク」(一九一二年ニ於テハ七布度十二「フント」六十二「ゾロトニツク」)等ノ増加ニ由ル

黑龍江會社ノ採金量増加ハ作業金鑛數ノ増加ニ由ルモノニシテ、又「ゲンリフセン」會社採金量増加ハ前年着手シタル準備工事完成シ本採掘ニ入りタルヲ以テナリ。  
「アホートスク」會社ニ於テハ匙土杓ハ土掘機ノ代用トシテ洗淨船ヲ使用シ居レリ、同船ニハ三立方「フット」ノ匙土杓ヲ具備スル杓類ヲ具備シ、大「スコープ」ノ用途ヲ爲シ居レリ、同船使用ノ結果、同社ハ二倍ノ増額採量ヲ得タリ。  
大「スコープ」使用成績次ノ如シ

匙土器作業	ノールウオゼランド式		カリフオルニア式	
	第一號大匙土器	第二號大匙土器	第一號大匙土器	第二號大匙土器
匙土器可能力	四、五立方「フット」	七立方「フット」	三立方「フット」	七立方「フット」半
作業開始	五月二十四日	五月十五日	六月十五日	四月二十五日
作業終結	十月十五日	十月十五日	十月三十一日	十月三十一日
作業日數	一四五日	一月七日	一二五日	一八二日
作業時間	一二三八〇時間	三、七六八時間	一〇五〇時間	二九一二時間
仕事セル面積	九九四〇立方サージュ	一、七三九六立方サージュ	一、七五〇立方サージュ	三九、四八六立方サージュ
採金量	二布度二六「フント」一七 ゾロトニツク三二「ドローリ」	五布度二〇「フント」四八 ゾロトニツク、四六「ドローリ」	一布度二三「フント」、二 ドローリ	三〇布度五「フント」、六〇 ゾロトニツク、七二「ドローリ」
使用日備人	六留九六哥	三留一九哥	不明	不明
	一一留一〇哥	八留一六哥	同	同

混合作業ニ由ル採金量ハ本年ニ於テハ豫定ヨリ若干減額ヲ見タリ。是レ「ウルドリスタ」會社所有「ボ  
クロフスタ」鑛ノ火災ニ由ルモノニシテ、同鑛ハ火災ノ爲メ浪淨機其他各種材料ヲ失ヒタル結果十八布  
度乃至二十布度ノ採金ヲ得ヘキニ僅カニ十四布度十「フント」ノ採金ニ止マレリ

一九一四年ニ於テハ當管區ニ於テ百二十五布度乃至百三十布度ノ採金豫想セラレツ、アリ

スウチヤン炭鑛

「スウチヤン」炭鑛ニ就テハ一八六〇年代鑛山技師「アー、エス、タスキ、オーア、デエイフマン、カー  
ベ、ケツペン及ボゴリブスキ」等ニ由リ已ニ世ニ知ラレタルモノニシテ、以前ニアリテモ「スウチヤ  
ン」ノ谿谷ニ於テ支那人ノ採炭ヲナセシ事アルヲ地理學者「マリヤフキン」ハ記述シ居レリ、現在「シホ  
ートアーリン」山ニ於テ支那人ハ石炭ニテ銀鉛鑛ヨリ銀ヲ製煉シツ、アリ

「スウチヤン」炭ニ關シ多少信憑アルニ足ル材料ハ「ウエー、ベ、マルカリトフ」ノ報道ナリ、如何ト  
ナレハ南島蘇里鑛山拓殖局（一八八八年ヨリ一八九三年マデ國境ニ於テ其仕事ヲ爲セリ）ガ該炭ニ多  
少ノ注意ヲ爲セルヲ以テナリ、「スウチヤン」炭ノ採掘作業ニ對シテハ「直チニ其採掘ニ着手ス可キ」旨  
ノ勅令アリタリ

「スウチヤン」炭ノ販路

一九〇五—一九〇七年

一、〇三四・五七三

一九〇八年

八、二〇三・六一四

一九〇九年

九、〇八二・五五五

一九一〇年

一〇、三一・一五一一

一九一一年

一〇、三九八・〇〇八

一九一二年

九、四五四・九〇三

一九一三年

九、二四一・六〇三

一九一四年

一〇、二七四・五六二

炭鑛管理所ノ組織

一九一四年、炭鑛管理所組織セラレタルカ其職別左ノ如シ

(鑛山技師)

鑛山管理者、副管理者、技術部主任、機械部主任、運輸部主任、各一名

(普通従業員)

會計簿記係、(主任及副主任)、事務係主任、醫師各一名、看護人二名、產婆一名、鑛山内雜貨販賣人  
三名(志望ニ由リ鑛山ノ許可ヲ受ク)、鑛夫長及技術員七名、管理所勤務事務員二十六名、倉庫番一名

教師一名、女教師五名、宣教師一名、讚美歌樂手一名、看守人三十名、製圖係九名、露天労働者一五三名

鐵道部ニアリテハ、本部員七名、各驛監督員五名、驛長及助役一三名、機關手及機關助手一六名給水係二名、其他機關係一四名、産婆一名、看護人一名、露天労働者三六一名

薪炭部ニアリテハ、本部員三名、技手一名、積込係一名、看守人一名、露天労働者五三名

### 病院

炭鑛附屬病院ニテハ全従事員ニ對シ無料ニテ醫藥ヲ供シツ、アリ、同病院ニハ十個ノ寢臺ヲ設備シ尙第二號坑、鑛山鐵道「テイゴワヤ」驛及「ファンザ」驛ニ收容所ヲ設ク。

醫員ハ醫師一名、看護人三名、産科醫一名、助産婦二名ヨリ成リ、本年中ノ施療患者數、收容所入所九千七百八十九名、來診患者二萬三千二百三十六名、入院者二百九十七名其延人員五千二百四十八名ナリキ

### 住宅ト經費

全労働者ハ住宅、電燈、薪炭、水道ノ無料給與ヲ受ク。食料品及日用品ノ供給ハ消費組合經營ノ鑛

内雜貨店ヨリ市價ト等シキ價格ニ於テ之カ供終ヲ受ク、一人ニ付一ヶ月ノ經費十六留乃至十八留ナリ

### 郵便

郵便事務ハ一九一一年ニ鑛山内ニ開設セラレタル郵便電信支局ニテ直接ノ取扱ヲナシツ、アリ。郵便物ハ馬若シクハ輕便鐵道郵便車ニテ輸送セラレ

### 教會及學校

一九〇四年 炭鑛従業員及労働者ノ寄附ニ由リ教會ヲ建設シ、宣教師及唱歌者ヲ招聘セリ

鑛山従業員及労働者子弟教養ノ爲メ鑛山ニハ二個ノ學校アリ、百三十五名ノ生徒ヲ收容シ居レリ。

其一ハ「ファンザ」驛ニアリテ三十名ノ生徒ヲ收容シ居レリ。教師ハ男教師一名女教師四名、布教師一名(教會付宣教師之ニ當ル)ナリ。其他鑛山ニテハ「テユゴワヤ」村ニ存スル學校ヘモ此等子弟ヲ通學セシメ必需品ヲ供給シ居レリ。一九一四年中是等各學校ヲ卒業セル子弟百九十名アリタリ(完)

大正六年三月廿五日印刷  
大正六年三月廿七日發行

臨時產業調查局第二部

印刷者 石丸鶴吉

東京市京橋區鈴木町二番地

印刷所 東亞印刷株式會社

東京市京橋區鈴木町二番地

電話京橋一〇二二五

326  
234

終